夏號

季刊 テイゲキグラフ サクラ

TEIGEKI GRAPH SAKURA

帝國歌劇團特別編纂

・夏号特別撮り下ろしグラビア「カンナとさくらの沖縄小旅行」

・歌謡ショウ大特集「アラビアのバラへ向けて」



季刊 テイゲキグラフ サクラ 夏号

SOFT BANK Publishing
SOFTBANK MOOK
定価 980円

SEGA ENTERPRISES,CO.LTD.

Dreamcast™

Sakura Wars サクラ大戦™

すべてはここから始まった

あの名作がパワーアップしてドリームキャストに還ってきた

太正桜に浪漫の嵐

【キャスト】

真宮寺さくら	横山　智佐
神崎すみれ	富沢美智恵
マリア・タチバナ	高乃　麗
アイリス	西原久美子
李　紅蘭	渕崎ゆり子
桐島カンナ	田中　真弓
藤枝あやめ	折笠　愛
大神一郎	陶山　章央

【スタッフ】

製作総指揮	入交昭一郎
総合プロデューサー	広井　王子
キャラクター原案	藤島　康介
作曲・音楽監修	田中　公平
構成・脚本	あかほりさとる
キャラクターデザイン	松原　秀典



好評発売中!

帝国歌劇団から
感謝をこめて
花組カード進呈中

GD-ROM3枚 「サクラ大戦3」などの情報満載の「おまけディスク」含む

発売日：2000年5月25日
価　格：4,800円（税抜）

帝劇スタアグラビア・壱

カンナとさくらの沖縄小旅行

まぶしいくらいに、さんさんと降り注ぐ夏の陽光。どこまでも青く、気持ちいいぐらいに澄んだ大空。季節は、夏。花組のなかで夏がもっとも似合う桐島カンナが、さくらを連れて懐かしき故郷・沖縄へとやってきた。里帰りを兼ねた小旅行の始まり。





歴史ある琉球の城から沖縄の街を一望。



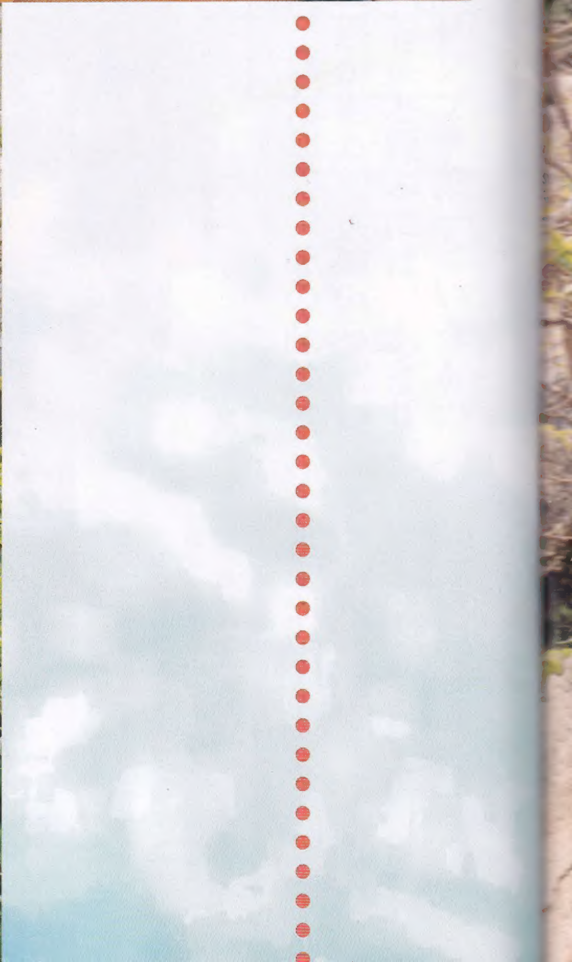




ふだんの忙しさを忘れて
本気ではしゃぐふたり。

カンナの案内のもと
沖縄の旅を満喫！





琉球独特の伝統的茶道

ブクブク茶







茶湯と煎米湯をブレンドしたものを左の写真のような大きめのブクブク鉢に入れ、大ぶりな茶筅で一気に泡立て、その泡を茶碗に盛りつける。

沖縄にむかしから伝わる豊かな泡を飲む不思議なお茶

食に関しては、独特の文化をもっている沖縄だが、今回、カンナとさくらが体験したブクブク茶も、そんな沖縄らしい食文化のひとつ。これが沖縄の茶道の主流ではないものの、万人に受け入れられる風味で、伝統的な茶道として親しまれてきたのだ。

琉球独特の茶道といわれているブクブク茶の特徴は、泡と煎米湯（炒り米を水で煮立たせ、煎じたもの）のこくのあるおいしさにある。作り方は、行程こそ簡単だが、要所で熟練の技が必要となる。お米（玄米）をきつね色になるまで、時間をかけてむらなく炒り、十倍くらいの水で煮出し、そこにさんぴん茶と山原茶を一対一に混ぜ、その茶湯を煎米湯にブレンド。ブクブク鉢（写真参照）にブレンドしたものを三分目くらい入れ、茶筅で一気に泡立てれば、できあがり。米の炒り加減、水質、煮出し加減、もろもろの条件が整うと、いとも簡単に泡立つのであるが、条件がひとつでも欠けてしまっていると、なかなか泡立たなくなってしまう。見事に泡立つおいしいブクブク茶を作るには、材料の玄米に合う硬度百以上の良質の地下水を使うのが秘訣。それにより、栄養価も高く、健康な心と体を作るためのブクブク茶が完成するのである。自然豊かな水が決め手というのが、じつに沖縄らしい。

このお茶屋に立ち寄ったふたりは、出されたお茶を見てビックリ。その存在だけは知っていたカンナも、間近でブクブク茶を見るのは、これが初めてのこと。もくもくと、まるで真夏の入道雲のように茶碗からはみ出した泡は、とてもお茶には見えない。しかし、



お店の人から作り方を教わったところで、さっそくカンナもブクブク茶作りに挑戦。最初はコツをつかんでいないせいか、なかなか泡が立たなかった。が、そこはカンナ。力任せに素早く茶筅を振り回し、見事な白い泡を立てるのに成功。その泡の立ち方に、一喜一憂するふたり。

旅も中間点にさしかかったころ、カンナとさくらが休憩しようと立ち寄ったお茶屋。そこで出されたお茶は、さくらにとっては初体験となる「ブクブク茶」というものだった。お茶と呼ぶには、あまりにも違和感がある、茶碗いっぱいの泡の山。はたして、その味は？



ブクブク茶は、一杯飲んだら十年は長生きすると言われている。泡が"ブクブク"としているからという訳ではないらしい。元来は「福福茶」といい、祝いごとのときなどに飲まれていた。







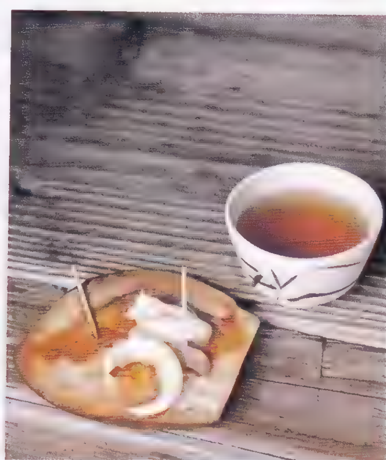
ふんわりとした光沢のある不思議な白い泡は、紛れもなくお茶なのである。その白い泡を食べるようにしながら豪快に飲むのが、ブクブク茶の正しい楽しみ方。最初は物おじしながらも、ふたりもおそるおそる泡を口に含んでみる。その瞬間、口の中になんともいえない風味が広がり、それは心地よい幸せへと昇華された。すっかり気に入ったふたりは、自分たちで泡立て、思う存分にブクブク茶を楽しんだのだ。



午後のひとときを
まったりと過ごす。







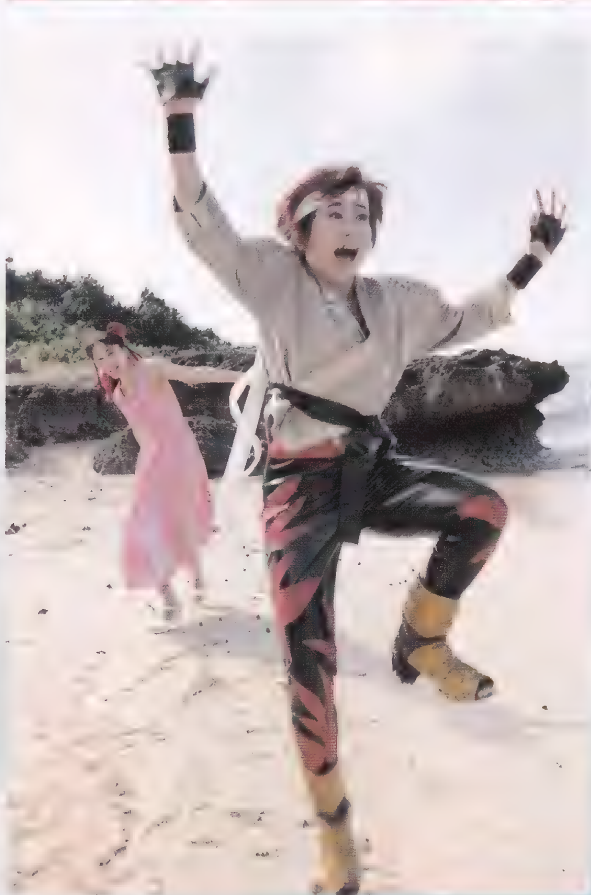












静かに打ち寄せる波と潮風に、

ここが沖縄であることを実感！







幼きころに厳しい修行をした海岸。
懐かしくて忘れられない思い出。



カンナの故郷である美しき島沖縄。
ふたりは、再び訪れることを誓う。



力がみなぎる長寿の食

沖縄料理



手作りの愛情がこもった 味わい深い伝統的家庭料理

カンナとさくらの旅の終わりに、カンナおすすめの沖縄料理のお店に足を運ぶことになった。日本一の長寿の里として知られる沖縄だが、その秘密はやはりその独特な料理にあるといっても過言ではない。ただ、その沖縄料理は、なにも特別なものではなく、どこの家庭でも食べられているごく普通の家庭料理なのである。カンナも幼いころから食べていた沖縄料理の特徴を、ここでいくつか紹介していこう。

沖縄料理の食材として、もっとも多用されているのが豚肉である。豚肉料理は、沖縄の人のお家芸。頭も足も内臓もくまなく使って、手間暇を惜しまずに、味も見た目もすばらしい料理に仕上げる。代表的なのは、豚の皮つき三枚肉の角煮、ラフテー。泡盛を使って時間をかけて煮ているので、はしでちぎれるほどにやわらかく、意外と脂っこくない。豚足を丁寧に下ごしらえし、昆布や大根とゆっくりコトコト煮込んだ足ティビチもコクがあり、味わい深い。また、豚の耳皮（ミミガー）をゆでてピーナッツ酢であえた料理もコリコリした歯ざわりが楽しめ美味。

季節の野菜を豆腐といっしょに炒めるチャンプルーも、沖縄料理の代表。チャンプルーには“ごちゃ混ぜ”という意味もあるといわれ、さまざまな種類が存在する。もっとも有名なのは、夏の野菜である苦瓜と豆腐と卵を炒めたゴーヤーチャンプルー。苦瓜のさわやかな苦味と豆腐のうまみ、それに卵が加わり絶妙の味わいを作り出す。ビタミンCも豊富で、沖縄の熱い夏を乗り切るのには欠かせない料理だ。

そのほかにも、材料を油で炒めてか

左は、体にいいコラーゲンがたっぷり入った豚の足を煮込んだ足ティビチ。昆布や大根をいっしょに煮るので、見た目はおでんのよう。右は、沖縄豆腐の上に、塩漬けにした小魚のスクガラスをのせたスクガラス豆腐だ。





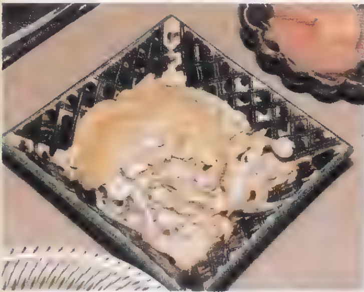


ふたりだけの沖縄の旅も、これで締めくくり。カンナの粋な計らいで、ふたりは沖縄料理を食べることになった。使われている材料や調理法が独特の沖縄料理だが、どの料理にも最高の愛情と手間暇がかけられている。まさに旅の終わりにふさわしい宴の始まりだ。





写真下は、豚の耳皮肉をゆでてピーナッツ酢をあえたミミガーの刺し身。同写真の右上にちらりと写っているのは、珍味の豆腐よう。豆腐を泡盛、米麹で発酵熟成させたもの。写真右は、有名なゴーヤーチャンプルー。苦味はあるが、クセになるうまさだ。







ら豚とかつおの合わせだしで煮るイリチー、野菜と豆腐をみそ味で煮込んだンブシー、小麦粉で作った麺を豚だしとかつおだしを合わせたスープで食べる沖縄そばなど、庶民的ながらもおいしい料理がたくさん存在する。

作り手の知恵と工夫、そして愛情が込められた沖縄料理。ふたりはお互いの日ごろの労をねぎらいつつ沖縄料理に舌鼓を打ち、心行くまでふたりだけの宴を満喫したのである。

帝劇スタア　ゆかりの地を訪ねる

◆ちゅらしま 沖縄

世界地図で見る日本は、太平洋の北西を縁取るこぢんまりとした列島だ。その小ささゆえ、私たちはこの国が同一気候上にあると思い込んでいる節がある。けれども初めて那覇空港に降り立った人は皆、亜熱帯気候の湿気の多さに驚き、己の常識を打ち砕かれる。北に旅する人が針葉樹に、瀬戸内を訪れる人が柑橘系の香りに旅情を感じるように、沖縄への旅人は、さりげなく空港に飾られたハイビスカスや眼前に広がるサトウキビ畑に、遥か南の島「ちゅらしまうちなー（美しき島沖縄）」を実感することだろう。

現在の沖縄は、人口一三〇万人、本島のほか宮古島や石垣島など四一の諸島から成る。かつては中国と徳川幕府に両属した歴史を持ち、沖縄戦線や米国支配を余儀なくされるなど悲惨な過去を経験してきたが、今ではリゾート天国として、観光客を暖かく迎え入れてくれる。



デイゴ（県花）



デイゴは、インドやマレーシア原産のマメ科の落葉高木。3月から5月にかけて鮮やかな朱赤色の花を咲かせる。この南国の花は、沖縄県の県花であり、材は琉球漆器の素材としても使われている。ちなみに沖縄は独特の方言を持ち、沖縄の人々を「うちなんちゅ」、本土の人々を「やまとんちゅ」と呼び分ける。

歴史
HISTORY

港川人と呼ばれる旧石器人骨が具志頭村で出土した。琉球人は、日本人と同じ起源を持つと考えられているものの、弥生時代を境にして異なった独自の歴史を培ってきた。十二世紀に台頭した三人の按司（首長）による三山時代を経て、十四世紀に中山王の察渡が中国と進貢・冊封関係を結び、十五世紀初頭には南山の思紹・尚巴志父子が首里城に拠点を置く琉球統一を果たした（第一尚氏）。一四七〇年には家臣の金丸が反乱を起こし、尚円と名を定め君主となった。ここに第二尚氏と呼ばれる四〇〇年に渡る琉球王国が誕生し、海洋王国の名を欲しいままにした。しかし悲劇は突然に訪れる。一六〇七年に嶋津氏に侵攻された王国は、日中の二重支配に苦しめられた。廃藩置県後の琉球処分で沖縄県となり、現在へと至る。

首里城



政治と祭礼の場であった琉球国王尚氏の居城。那覇の港に近く、市内を一望できる高台にある。軍事上の都合だけでなく、豊富な湧き水があるなど、風水面でも理想的な立地条件だった。戦火などで3度焼失し、現在の建物は1992年に完成した復元である。●交通／バス停首里城公園入り口下車徒歩5分。首里城公園管理センター（☎098-886-2020（代））

文化
CULTURE

沖縄の文化は奥が深い。独自の信仰を持ち、シーサーや石敢當などの魔除けがいたる所で見かけられる。中国との朝貢関係から、古来より要人を歓待するための踊りや音楽が発展してきた。この伝統は今も引き継がれており、独特の個性を持った芸能が発達している。三線やカスタネットのような四ツ竹という独特の楽器と沖縄旋法の民謡を聴けば、誰もが琉球の風を感じるのではないか。伝統工芸には「やちむん」と呼ばれる焼き物、美しい染め物である「紅型」、漆器、鮮やかな色彩の琉球ガラスなどが挙げられる。このような伝統は、恩納村の琉球村や玉城村の玉泉洞王国村などで体験・学習できる。これら琉球文化を支えるのは、大概という意味を持つ「テーゲー」精神。ゆとりあるうちなんちゅ（沖縄人）はしなやか、かつ大らかなのである。

玉泉洞



珊瑚礁から産まれた玉泉洞は、全長5キロメートルの日本第二の長さを誇る鍾乳洞である。この東洋一の洞は、六階建てのビルが建つだけの広さを誇っている。洞窟の上では、熱帯果樹園、工芸村、琉球古船の展示場などのテーマパークが楽しめる。●交通／バス停玉泉洞前下車。玉泉洞王国村（☎098-997-3111）

平和
PEACE

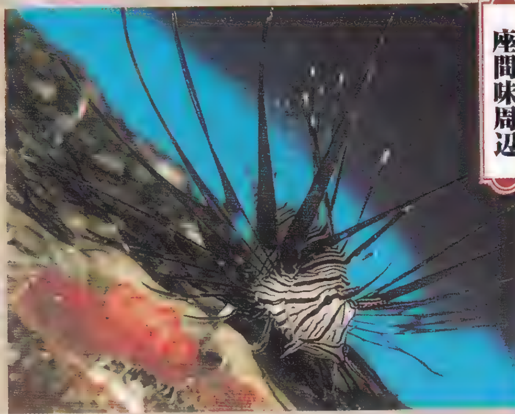
太平洋戦争で十数万人の民間人戦死者を出した沖縄は、わが国で唯一地上戦が行われた場所だ。兵士以外の非戦闘員が砲弾にさらされたこの戦いは、沖縄住民の三分の一を何らかの形で犠牲者にした。一九四五年三月、米軍は沖縄諸島への空襲と島の形が変わるほどの艦砲射撃を開始し、二六日に慶良間諸島へ、四月一日には沖縄本島へ上陸し、日本軍の主力陣地であった首里への総攻撃を開始した。日本軍は首里を放棄し、南部へ逃れるための時間稼ぎ作戦による抵抗を続けたが、これによって多くの尊い命が失われた。六月二三日に牛島軍司令官が自決して日本軍の戦闘は終結したが、米軍が七月二日まで作戦終了宣言を発表しなかったため、犠牲者は更に増加したという。戦争資料館としては、首里の旧海軍司令部の壕、糸満市のひめゆりの塔とひめゆり平和記念資料館、沖縄戦終焉の地にある平和祈念公園などが挙げられる。平和祈念公園には全戦没者の名を刻んだ記念碑や都道府県別の慰霊塔もあり、訪問者が平和の祈りを捧げている。

ひめゆりの塔



映画でも知られるひめゆり学徒隊は、県立第一高等女学校と沖縄師範学校女子部の生徒たちによる従軍看護婦部隊であった。ひめゆりの塔とは、砲撃と集団自決による非業の死を遂げた生徒と職員を祠った慰霊塔である。●交通／バス停ひめゆりの塔前下車。ひめゆり平和記念資料館（☎098-997-2100）

自然 NATURE



座間味（ざまみ）島は、本島南部の西側にある。慶良間諸島の中でも海岸線が入り組んでおり、広大な珊瑚礁で知られる。1月から3月にかけ、ザトウクジラのホエールウォッチングができる。また半潜水型の水中観光船もあり、注目を集めている。●交通／那覇泊港より座間味村営フェリーで。フェリー座間味（☎098-867-4567）

沖縄に憧れてガイドブックをめくると、そこにはエメラルドグリーンの海、海、海。珊瑚礁や星の砂、天まで抜けるような青空と、豪華なリゾートホテルのプライベートビーチに遊ぶ日焼けした人々の写真が目に入る。そして何よりも魅力的なのが、ダイビングや無人島ツアーなどの体験情報だ。沖縄本島のおすすめビーチは、恩納村にある有名な万座ビーチやダイヤモンドビーチのほか、那覇市の波の上ビーチ、読谷村の残波ビーチ、名護市の着瀬市民ビーチなど。泳ぎは苦手だけれども海中散策がしたい人は、恩納村で観光潜水艦「もぐりん」に乗る手もある。本島北部のやんばるの森は、天然記念物のヤンバルクイナで知られるが、リバー&マウンテントレッキングのメッカでもある。散策中、沖縄に伝わる木の妖精「ギジムナー」に出会えるかもしれない。「東洋のガラパゴス」の異名をもつ西表島は、天然記念物イリオモテヤマネコも生息する大自然の宝庫だ。都市部でも、ヒルギを中心とした植物が形成するマングローブがいたるところで見られるなど、沖縄一帯が自然に溢れている。

祭り FESTIVAL



1955年に始まった大琉球・まつり王国は、伝統芸能をメインとする大規模なイベントで、現在では秋の風物詩として定着している。老若男女の誰もが参加でき、多くの伝統文化に酔いしれることができる。第6回となる2000年は、10月に開催の予定。那覇市、宜野湾市、沖縄市で開催される。●問い合わせ／大琉球・まつり王国実行委員会（☎098-862-0501）

神々を称えるための祭りは、観光客にとって南国沖縄の芸能文化を満喫するチャンスでもある。スポーツの祭典や嘉手納基地でのアメリカンフェスタなど、現代では祭りの種類も豊富になり、それぞれの楽しみ方ができる。一月から桜が開花する沖縄では、三月までに県内各地で花のイベントが開催される。南国とはいえ沖縄にも短い冬がある。春を迎えることは万人に共通の喜びなのだ。毎年五月五日に行われるのは那覇ハーリー。大漁と航海の安全を祈願し船を漕いで競争するものだが、他の地域に比べ大きな船体を使うことから数十万の観客を動員するという。また期間中はコンサートや郷土芸能のショーもある。沖縄の盆踊りにあたるエイサーも躍動的だ。旧盆にあたる八月十五日、各地で三味線や太古を打ち鳴らし、人々が踊る。お盆の念仏踊りというより、芸能として披露される向きもあるそうだ。また冬の沖縄は、スポーツ選手のキャンプ地としても知られる。野球やサッカーなど、お目当ての選手に出会えるかもしれない。

食 FOOD

日本一の長寿県として知られる沖縄は、食においても独自の文化を持っている。古来からの中国や東南アジアとの交易により、現在でも多国籍かつユニークな食文化を形成している。また、徳川幕府の支配を受けた副産物として、本土から昆布を買い砂糖を売った歴史もあり、北海道の人よりも昆布を食べるという。なんでも混ぜ合わせるという意味の〝チャンプルー〟文化は、外界の情報を取り入れる柔軟な姿勢だけでなく、料理方法にも反映されているのだ。マチグワー（市場）を歩いてみよう。牧志公設市場や平和通り、市場通本通りなど、まるで東南アジアの市場のような活気にあふれている。目にも鮮やかな原色の熱帯魚や、沖縄人なら泣き声以外はすべて食べ尽くすという豚の、顔や足が売られている。是非とも味わいたい沖縄の味覚は、ご存知沖縄ソバやゴーヤーチャンプルー、ゆし豆腐、沖縄の県魚グルクン、豚の耳の料理など。お土産品には、名高いちんすこうやウコン茶、泡盛、オリオンビールなどが喜ばれるだろう。



医食同源の考え方に基づき、沖縄の料理は暑さを乗り切るための知恵に満ちている。そのため、豚肉やゴーヤーなど滋養の高い素材をフルに活用している。アイゴの稚魚がのったスクガラス豆腐や、豚の三枚肉を丹念に煮込んだラフテーなども庶民の代表的な料理だ。ちなみに大衆食堂では、おかずにはライスと汁物がセットになっている場合もある。注文時は確認を。

写真提供：(財)沖縄観光コンベンションビューロー

季刊 テイゲキグラフ サクラ 夏號

目次

表紙の顔

帝国歌劇団・花組

桐島カンナ



一九〇三年九月七日生まれ。沖縄出身。太正十一年の帝国歌劇団発足の時より在籍しており、その大柄な風貌と性格で、特に女性と年少者にファンが多い。花組男役の看板女優である。同じく花組在籍の神崎すみれとのかけあいも評判で、太正十二年の七月公演「愛はダイヤ」、八月公演「西遊記」では二人の迫真の演技が話題を呼んだ。体当たりの演技で自分を表現する彼女には、多くのファンが勇気付けられており、花組の中でも、若い団員のまとめ役としてなくてはならない存在である。

歌謡ショウ大特集

アラビアのバラへ向けて







夏の足音がそろそろと聞こえてくる6月のある日、第四回歌謡ショウ「アラビアのバラ」の初顔合わせが都内某所で行われた。稽古入りを目前に控える会場で、総合プロデューサーである広井氏に歌謡ショウにかける意気込みを聞く。

語り
歌謡ショウ
作・演出・総合プロデューサー
広井 王子

今日は稽古の初日ということですが…。

はい。稽古場での初顔合わせがこれから行われます。

四回を数える歌謡ショウですが、その意気込みを。

意気込みは…、昨日まではすごかったんですよ（笑）。でも、今日ここへ来てみると、何ができるのか、まださっぱり分からない。今の時点では不安でいっぱいです。新しいメンバーも多いですし、そういった人達とどうやってコミュニケーションをとっていこうかなと考えています。実際に昨日の夜も、脚本を読んでみて不備な点がいっぱい見つかったし、そういうところを、これから直しながら、現場のみんなの意見を聞きながら、文学の世界を肉体を持った現実に移し変えるわけです。でも今はとっても不安です。こういう不安があるからこそ、ここをもっと考えようとか、ここはこうして行こう、となっていくと思うんですね。モノを作るには、そういう恐れを持っていないといけないと思います。自信もあるんだけど、恐れを持って、常に二つを行ったり来たりしながら、モノを作ってゆきたいです。

四回目で慣れなどはないのでしょうか。

それが怖い。モノ作りで一番怖いのは手馴れるということだと思います。だから本当にいつも、新しい良いものを作るんだという気構えで、一生懸命準備をして、それでも足りないんじゃないかと恐れながら、やっていかなくてはなりません。

アラビアのバラという劇のシナリオについて教えてください。

アラビアのバラのタイトルの由来は、もともとは僕が子供のころ、ラビアンローズという曲（※《ラ・ビアン・ローズ》一九四〇年代にフランスでヒットしたシャンソン。原曲はエディット・ピアフ。世界中で歌われているシャンソンの一つ。タイトルの意味は「薔薇色の人生」）を、「アラビアンローズ」と勘違いしてしまっていたことにさかのぼります。当時の僕は、「アラビアのバラっていう歌なんだ…」と思っていたんですよ。そのアラビアンローズがずっと頭にあって、なんだかとても異国情緒のある歌なんだろうなぁと思って…、実際にラビアンローズを聞いたら、全然ちがってたんですけど（笑）…え？　これが？　みたいなね。それが、丁度小学生くらいの話なんですけど、今回はそのまま、勘違いのまま、やってみようかと思った訳です。その子供のころの勘違いのまま、アラビアに咲くバラ…砂漠に咲くバラってどんな素敵なバラなんだろうなぁ…と。それは、乾いた砂漠の中に愛が生まれるときに咲くんじゃないかって…、そう、子供の頃に思ってたんですね。本当に。それで、そのまんまそれをテーマにした訳です。ただ、ちょっと、元ネタは出しておかないと分からないだろうと思って、バー・ラビアンローズっていうのも脚本に、こっそりと書いてあるんですが（笑）。

主演が織姫だということですが、選ばれた理由は？

通常のお芝居の中で言う、「主役」という考え方は、歌謡ショウは違っていて、最終幕の劇中劇の中で、一番重い役と考えてくれれば良い訳です。そうなると、アラビアのバラそのものが一番重い。テーマになってますから。それでそのまま織姫にやってもらうことにしました。もともとバラっぽいですからね。織姫は。で、他のキャストは、レニをいままでセンターにすえてなかったので、レニに主役級の役をやってもらい、その相手役としてマリアに出てもらいました。マリアは男役のトップだから、花組の芝居を支える役割です。…そんなふうにして考えた配役です。あと、役者さん

第一回「愛ゆえに」

帝国歌劇団・花組の次なる演目は「愛ゆえに」。マリア・タチバナが演じるオンドレの相手役のヒロイン・クレモンティーヌに抜擢されたのは、なんとまだ入団したての新人・真宮寺さくらだった。なんとか役をこなそうとがんばるさくらだが、歌と芝居の出来は今一つ。足並みの揃わない花組をまとめるべき、大神一郎は劇場を離れていない。こんな状況の中、刻一刻と「愛ゆえに」の公演の日が近づいてくる…。

一九九七年七月十九日から二十一日の計三日間で行われた、歌謡ショウの記念すべき第一回公演がこの「愛ゆえに」。ゲーム中に登場する劇団を現実の舞台で再現するという「サクラ大戦」ならではの試みが初めて実現したのが、この年だった。劇中劇を物語の柱にし、それをとりまく団員たちの、悲喜こもごものエピソードを歌と踊りとともに語られていくスタイルも、この初公演の時に既に確立している。また、音楽総指揮の田中公平氏が自ら指揮棒を握り、オーケストラと組んで演奏する生演奏も話題を呼んだ。



オンドレとクレモンティーヌの掛け合いのシーン。劇中劇の合間に大神とあやめが舞台袖で見守るシーンが挿入され、全体の雰囲気を盛り上げていた。



「オンリー・マン」を熱唱するマリア。劇中劇では、マリアが今回の配役を決めたことになっており、さくらを取り巻く状況に一人悩む様子が演じられている。

アラビアのバラへ向けて

の順番という面もあります。一番最初の「愛ゆえに」の主演がさくらとマリア。次の「つばさ」で紅蘭、アイリス。そして去年の「紅蜥蜴」ですみれ、カンナが主役級をやった訳だから、今年は織姫、レニとくるのは順当だと思っています。

今回の見所は？

見所は、去年よりも芝居と歌のつながりがさらにパワーアップしている点です。だから、歌から芝居に入るところや、芝居から歌に入るところは、去年より難しくなっていて、よりミュージカルっぽいシーンが増えていますね。

歌謡ショウは数ある舞台の中でも、ちょっと特別な感じがしますが。

それは色々なスタイルがあるということでいいと思いますね。うちの歌謡ショウは新しいスタイルのものだと思ってもらえれば。うちの歌謡ショウというのは、例えてみれば、二重の入れ物な訳です。架空の「帝国歌劇団」という劇団があって、劇団がやっている劇が「アラビアのバラ」。劇中劇それだけを出してしまうと、少しわかりにくいから、架空の劇団のお話も一幕になっているという。演じている上にさらに演じるという。そこが理解できないと、歌謡ショウはつまらないかもしれませんね（笑）。今までありそうでなかったスタイルですからね。デジタルとアナログをこういう形で結びつけたという事では、演劇界の事件です。

現時点で全行程のどれくらいまで進んでいますか？

脚本の段階では見えないですよ。6割くらいしか見えない。ここから美術、振りつけ、役者さん、みんなの総合力で組み上げていくんです。演出というのはそれの整理をするだけなんです。重要なのはその脚本から、どう汲み取ったか。ということで、それをきちんと説明できれば、それはOKなんです。じゃぁ、そうしましょうと変更する場合もあります。そのことによって変わることはどこなの？　じゃあ、ここの振りつけはもっと激しく変えましょうかとか。激しいところから激しい科白にいってはつまらないから、少しトーンを落としましょうとか。そういう組み上げていく作業がこれからある訳です。そこでは、脚本家である自分はいません。この脚本は脚本家の自分が書いたけど、今は演出の自分がいる。演出家として、もらった脚本をどう活かすかを考える。脚本家さんはそう書いたかもしれないけど、現実はそういかないよというのもあります（笑）。沢山の役を、僕自身も演じなければならない訳です。

使い分けが大変ですね。

それは訓練されてますから。レッドカンパニーの社長をやっているときと、プロデューサーをやっているときと、小説を書いているときの自分は違う訳です（笑）。レッドカンパニーの社長のまま、小説は書けませんからね。そういう訓練をしょっちゅうやっているんですね。それに「人生は大きな舞台」といいますしね（笑）。演じないと。

これから歌謡ショウに来るファンの皆さんにメッセージを。

理屈抜きで楽しんでもらえればいいと思いますね。劇場に来る楽しみ、「わぁ、きれいだな」という素直な楽しさ、それを目指しているんで。あんまり理屈でお芝居を考えられても困ってしまいますし、そんなお芝居は作ってはいない訳ですから。「ショウ」ですから。あんまり物事を難しく考えずに、楽しんでもらえるといいですね。

ありがとうございました。

夏の一夜を楽しみに来て下さい！

第二回「つばさ」

欧州大戦時下のフランス。フランス空軍が誇る若きパイロット・ジャン。しかし彼には、決して人には言えない秘密があった。それは、彼がジャンヌ…つまり、実は女であるということだった…。主人公役のジャン（ジャンヌ）に李紅蘭、ヒロインである幼馴染のマリー役にアイリスを配して公演されるのが今回の演目である「つばさ」。公演自体は順調に進むかと思われたのだが、ある日帝劇に盗みに入った泥棒に、アイリスが手を貸してしまい、帝劇の金庫が盗まれてしまう。ふさぎこむアイリスだが…。

一九九八年八月十一日から十六日まで行われた第二回歌謡ショウ「つばさ」。今回からレギュラーメンバーにレニ・ミルヒシュトラーセとソレッタ・織姫が加入。さらにゲストとして、帝劇三人娘の三人、高村椿、榊原由里、藤井かすみが登場。また、新しく加わった帝国華撃団・薔薇組の清流院琴音、丘菊之丞も出演。超豪華な顔ぶれで、延長された公演日のほとんどが満席状態となった。おなじみの田中公平氏指揮による生演奏も健在。様々にアレンジされた曲や、歌謡ショウのために作られた曲も観客を沸かせていた。



町での聞きこみの1シーン。さくらの「春が来る」とカンナの「南国GOGO」が田中氏の絶妙な指揮によってミックスされ、一つの曲として上演された。

「つばさ」の主役は、紅蘭とアイリス。紅蘭の作った特製金庫は一筋縄では開けられない。しかし、アイリスはあやまって泥棒の手助けをしてしまう…。



第三回「紅蜥蜴」

花組の新公演「紅蜥蜴」の主役の座を射止めたすみれだったが、なぜか稽古に集中できない毎日を送っていた。なんとも面白くないすみれは、練習中に舞台装置が壊れたために、脚を怪我したと偽り、花組のメンバーの同情を買おうと考える。すみれの狙い通りに花組のメンバーはすみれを心配して、お見舞いに訪れたり、励ましたりするのだが、事故の責任を感じた親方が帝劇を去ってしまう。事態が大きくなりすぎたと感じたすみれは、言い出すに言い出せなくなってしまうが、そこに事情を全て知ったレニが現れる…。

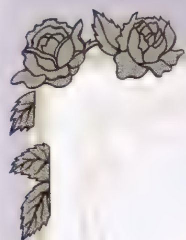
一九九九年八月四日から七日まで計六公演を、おなじみ東京厚生年金会館で行われた第三回歌謡ショウ「紅蜥蜴」。劇中劇の「紅蜥蜴」では、怪盗・紅蜥蜴役に神崎すみれ、紅蜥蜴を追う、探偵・明智小次郎役に桐島カンナという配役で上演された。恒例となった田中公平氏指揮による生演奏はもちろんのこと、歌謡ショウのために作曲されたオリジナルソングもさらにパワーアップ。おなじみの豪華なゲストに、ダンディーのボスの渋い歌声、幕間のアイリスと大神一郎とのコント等など、歌謡ショウでは既にお約束となった様々な出し物にファンは大いに楽しんでいた。ちなみにこの公演はDCソフトとしてゲーム化されているので要チェック。



クライマックスの紅蜥蜴と明智小次郎の対決。怪盗と探偵という合い入れない二人に生まれた愛は、紅蜥蜴の死という結末で幕を閉じてしまう…。



さくらとダンディーのボスが歌う「カモナ浅草！」の1シーン。曲中ではダンディーのボスがタップダンスを披露。劇場中を沸かせていた。



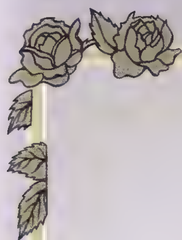

デザイア
レニ・ミルヒシュトラーセ
（伊倉一恵）




タッタン王子

マリア・タチバナ

（高乃麗）




バラの女王

ソレッタ・織姫

（岡本麻弥）

第4回
サクラ大戦歌謡ショウ
「アラビアのバラ」

いよいよ開催!!

前売券 絶賛発売中!!

公演期間／7月28日～8月4日　※7月31日のみ休演日

会場／東京厚生年金会館（新宿）

料金
SS席8,000円・S席6,500円・A席4,000円（全席指定）
ファミリー券（S席のみ）［大人1名+小学生以下のお子様1名］10,000円
※ファミリー券は各公演限定100枚。2人目のお子様より1名3,500円

チケットに関するお問い合わせ／キョードー東京 03-3498-9999

公演に関するお問い合わせとファミリー券の申し込み
レイネット 03-5465-1030
※ファミリー券のお取り扱いはレイネットのみとなります。

チケット取り扱い
キョードー東京 03-3498-9999　チケットぴあ 03-5237-9999
CNプレイガイド 03-5802-9999
ローソンチケット
（オペレーター対応）03-5537-9955
（自動24時間対応Lコード37701）03-3569-9900

公演名／サクラ大戦歌謡ショウ　帝国歌劇団・第4回花組特別公演「アラビアのバラ」

主　催／(株)セガ・エンタープライゼス

協　賛／ドリームキャストマガジン／avex mode／(株)メディアファクトリー／バンダイビジュアル(株)／e-sekai

後　援／Bay FM

応　援／(協)浅草おかみさん会

企画・監修／(株)レッドカンパニー

製　作／(有)レイネット

衣装協力／(株)桂由美ブライダルハウス

協　力／(株)ミュージックリーグ／(株)キョードー東京／太正浪漫倶楽部

キャスト
帝国歌劇団花組
真宮寺 さくら(横山 智佐)／神埼 すみれ(富沢 美智恵)／マリア・タチバナ(高乃 麗)／アイリス(西原 久美子)／李 紅蘭(渕崎 ゆり子)／桐島 カンナ(田中 真弓)／ソレッタ・織姫(岡本 麻弥)／レニ・ミルヒシュトラーセ(伊倉 一恵)／

藤枝 かえで(折笠 愛)／大神 一郎(陶山 章央)／他

――人の心はどうして乾いてしまうのだろう?

連載企画

大正浪漫探訪記

―弐・時代の胎動、「近代」から「現代」へ―



理化学研究所にあった当時世界一のサイクロトロン。サイクロトロンとは、直流磁場と高周波電場を用いて荷電粒子を加速する装置。終戦後に進駐軍に破壊された。（一九三九年撮影：毎日新聞社提供）

◆戦争という名の生き物

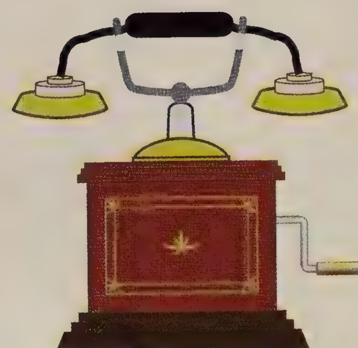
大正と呼ばれた時代。それは人類が「戦争」という名の生き物に翻弄された時代でもあった。一九一四年（大正三年）六月のオーストリア皇太子暗殺、「サラエボ事件」を発端に始まった第一次世界大戦は、近代国家を自認する欧州各国を戦乱に巻き込む。戦争終了までの五年間で国土は荒廃し、欧州列強諸国は国力を大きく消耗。その一方、直接、本土に攻撃を受けなかった日本とアメリカは戦争特需による空前の好景気・バブルな時代を迎えるわけだが、戦争が終結するとともに、増産に次ぐ増産で拡大した生産ラインが一気に縮小。敗戦国のドイツは莫大な賠償金に苦しむ。そうして、一九二〇年以降、世界規模で不況という名の悪夢が襲ってくることになるが、人々はまだそれを知るよしもなかった。

◆市場経済という魔物

一九一六年（大正五年）一月四日には、東京株式取引所が発会。大戦景気の余波で、初日に前年の七割高の値をつける急騰でスタート。鉄材は戦前の三倍の高値となる。それを受けて、各地で鉱山の試掘申請が急増。申請件数が例年の五割増しとなるほか、注文過剰で浅野セメントが三ヵ月間、新規の受注を停止するといった事態を引き起こした。こうした活況は猛烈なインフレを招き、物価の上昇率は七割と現在の尺度

大正時代年表（五年～八年）

大正五年	一月	東京株式取引所が発会
	二月	大阪に初の学校プールが完成
	三月	山極勝三郎らによる人工癌の実験が成功
	四月	東京上野の花見客が三十万人と発表
	五月	夏目漱石「明暗」を連載開始
	六月	遠世凱が死去。葬儀が営まれる
	七月	浅野セメント、生産満杯で三ヵ月受注停止
	八月	独がルーマニアに宣戦布告
	九月	英軍、新兵器「タンク」を世界初投入
	十月	赤坂のローヤル館で「天国と地獄」上演
	十一月	「チャップリンの拳闘」浅草・電気館で封切
	十二月	夏目漱石が死去。四十九歳
大正六年	一月	浅草・常盤座で「女軍出征」が大ヒット
	二月	「主婦之友」創刊
	三月	ロシアで「二月革命」帝政が崩壊
	四月	読売新聞社主催で、初の「駅伝」が開催
	五月	東京株式市場、独露講和説で大荒れ
	六月	芥川龍之介「羅生門」出版
	七月	横浜開港記念会館オープン
	八月	新聞に「前年のコレラ患者は一万人」
	九月	東日本で大暴風雨。食料品が大暴騰
	十月	東京歌劇座、浅草・日本館で旗揚げ
	十一月	東京・両国の国技館が全焼
	十二月	好景気で郵便局や鉄道に学生が動員




第一次世界大戦の影響による物価高で米価が高騰。富山に端を発するといわれる米騒動は全国に飛び火した。
写真は米の安売り店に殺到する市民達。（一九一八年撮影 ：毎日新聞社提供）

では信じられない上げ幅を記録。これが市民生活を直撃。米騒動などを誘発させる。

◆戦車、飛行機、潜水艦…戦争の落とし子たち

ライト兄弟の初飛行より十年余りしか経ていない「飛行機」も最初は偵察などの任務から、爆撃、対空戦闘とわずかな間に機体の性能が格段に進歩。日本においても、一九一六年（大正五年）九月二十四日に陸奥湾で行われた特別検閲演習に日本初の空母「若宮丸」と海軍航空隊が演習に参加している。同年十月には呉海軍工廠で、ドイツのUボートに刺激され、英国製のホランド潜水艦に手を加えた潜水艦（波七号）が竣工。戦争は大量の兵器と物資、人の命を代償に、さらなる技術革新と兵器を産み出していくのである。

◆日本の先端科学研究・理化学研究所

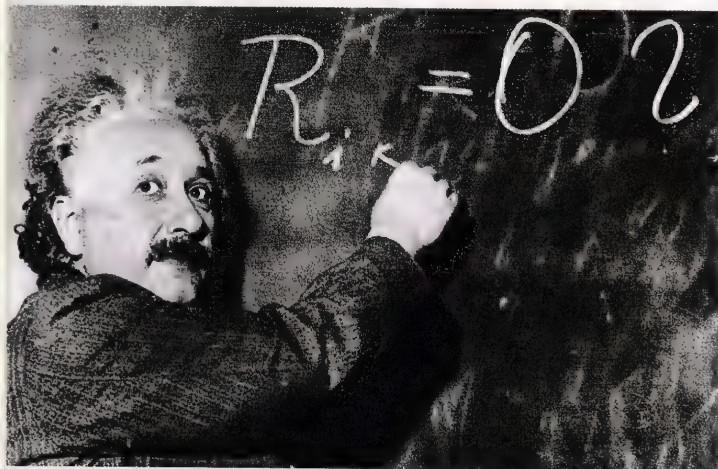
半世紀前は徳川家、将軍の治世であった日本だが、明治維新以来、猛烈なスピードで近代化を推し進める。そうした先端分野での科学研究を担った研究所のひとつが一九一七年（大正六年）三月二十日、東京・駒込に設立した理化学研究所（創立委員長は渋沢栄一、所長・菊池大麓）である。物理・科学両面にわたる研究を行い、先端分野の研究・実用化に功績を残した。第二次世界大戦当時、粒子加速器・サイクロトロンを建造（第二次大戦終了後、占領軍によって原爆開発のための施設と誤解され、解体された）。世界的にもトップクラスであった。現在のリコーの前身にあたる。

◆科学万能！　来るべき新世界の思想

スイスの天才物理学者、アルバート・アインシュタイン（一八七九～一九五五）は、一九〇五年、ドイツ物理学年報第一七巻の論文「運動する物体の電磁気学」で初めて「特殊相対性理論」の概念を明らかにしたが、一九一六年（大正五年）三月二十日、「一般相対性理論の基礎」を発表。「運動方程式」、$E=M^2C$を定式化。また、重力場によって光が「曲がる」ことを表した「重力場の方程式」を記述するなど、その後の物理学を飛躍的に発展させた。

「運動方程式」は後の原子爆弾の基礎理論の礎として、あまりにも有名だが、「重力場の方程式」は一九一九年（大正八年）の皆既日食の際、太陽の後ろにヒアデス星団が重なっており、エディントン卿が太陽を観測・撮影したところ、太陽のそばを通るヒアデス星団の光が歪曲。「重力場の方程式」の検証に成功したアインシュタインは一躍、時の人となる。

大正七年	一月	警視庁、交通取締りに「赤バイ」導入
	二月	住友鋳鋼所、「KS鋼」の特許を取得
	三月	松下電気器具製作所が旗揚げ
	四月	北海道帝国大学発足
	五月	宝塚少女歌劇団、帝劇で初公演
	六月	スペインでスペイン風邪が大流行
	七月	米価が暴騰、米穀取引所が停止
	八月	政府が、シベリア出兵を宣言する
	九月	東京海上ビル完成（初のビルヂング）
	十月	森永製菓「ミルクチョコレート」発売
	十一月	独と連合軍が休戦協定。一次大戦終結
	十二月	政府、シベリアからの大規模撤兵を決定
大正八年	一月	松井須磨子が自殺
	二月	スペイン風邪の死亡者は三十八万人と警視庁
	三月	東京で初の乗合バス「青バス」登場
	四月	山本実彦、月刊誌「改造」を創刊
	五月	東京の女学校で下穿き（下着）の一斉着用
	六月	コカコーラが初めて輸入される
	七月	乳酸飲料「カルピス」が発売される
	八月	上野動物園に、朝鮮・李王家寄贈のカバ到着
	九月	大阪国技館が落成
	十月	東京の物価続騰、前年比二十二%高と日銀
	十一月	平塚らいてう、新婦人協会の結成を発表
	十二月	C51形機関車が名古屋浜松間を試運転


ALBERT EINSTEIN（一八七九～一九五五）。西ドイツのウルムで生まれたアルベルト・アインシュタインは、"物質には膨大なエネルギーが内在している" とした特殊相対性理論を二十六歳のときに発表。原子力エネルギー研究開発の基礎原理を作った。
（オリオンプレス提供）



第一次世界大戦の影響による物価高で米価が高騰。富山に端を発するといわれる米騒動は全国に飛び火した。
写真は米の安売り店に殺到する市民達。（一九一八年撮影　：毎日新聞社提供）

では信じられない上げ幅を記録。これが市民生活を直撃。米騒動などを誘発させる。

◆戦車、飛行機、潜水艦…戦争の落とし子たち

ライト兄弟の初飛行より十年余りしか経ていない「飛行機」も最初は偵察などの任務から、爆撃、対空戦闘とわずかな間に機体の性能が格段に進歩。日本においても、一九一六年（大正五年）九月二十四日に陸奥湾で行われた特別検閲演習に日本初の空母「若宮丸」と海軍航空隊が演習に参加している。同年十月には呉海軍工廠で、ドイツのUボートに刺激され、英国製のホランド潜水艦に手を加えた潜水艦（波七号）が竣工。戦争は大量の兵器と物資、人の命を代償に、さらなる技術革新と兵器を産み出していくのである。

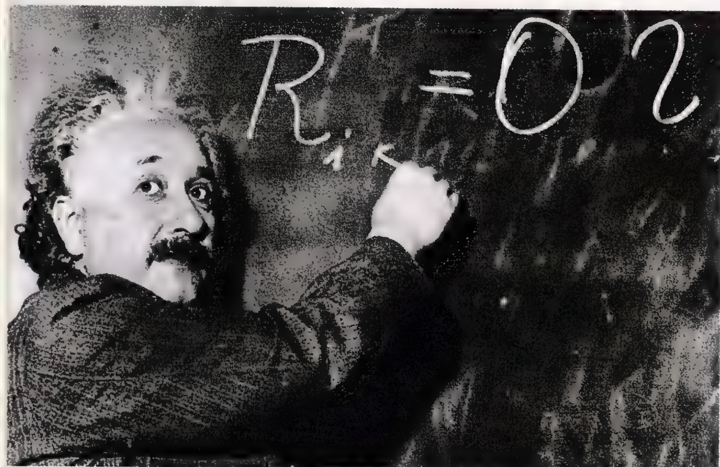
◆日本の先端科学研究・理化学研究所

半世紀前は徳川家、将軍の治世であった日本だが、明治維新以来、猛烈なスピードで近代化を推し進める。そうした先端分野での科学研究を担った研究所のひとつが一九一七年（大正六年）三月二十日、東京・駒込に設立した理化学研究所（創立委員長は渋沢栄一、所長・菊池大麓）である。物理・科学両面にわたる研究を行い、先端分野の研究・実用化に功績を残した。第二次世界大戦当時、粒子加速器・サイクロトロンを建造（第二次大戦終了後、占領軍によって原爆開発のための施設と誤解され、解体された）。世界的にもトップクラスであった。現在のリコーの前身にあたる。

◆科学万能！　来るべき新世界の思想

スイスの天才物理学者、アルバート・アインシュタイン（一八七九〜一九五五）は、一九〇五年、ドイツ物理学年報第一七巻の論文「運動する物体の電磁気学」で初めて「特殊相対性理論」の概念を明らかにしたが、一九一六年（大正五年）三月二十日、「一般相対性理論の基礎」を発表。「運動方程式」、$E=M^{2}C$を定式化。また、重力場によって光が「曲がる」ことを表した「重力場の方程式」を記述するなど、その後の物理学を飛躍的に発展させた。

「運動方程式」は後の原子爆弾の基礎理論の礎として、あまりにも有名だが、「重力場の方程式」は一九一九年（大正八年）の皆既日食の際、太陽の後ろにヒアデス星団が重なっており、エディントン卿が太陽を観測・撮影したところ、太陽のそばを通るヒアデス星団の光が歪曲。「重力場の方程式」の検証に成功したアインシュタインは一躍、時の人となる。



ALBERT EINSTEIN（一八七九〜一九五五）。西ドイツのウルムで生まれたアルベルト・アインシュタインは、"物質には膨大なエネルギーが内在している" とした特殊相対性理論を二十六歳のときに発表。原子力エネルギー研究開発の基礎原理を作った。
（オリオンプレス提供）

大正七年	一月	警視庁、交通取締りに「赤バイ」導入
	二月	住友鋳鋼所、「KS鋼」の特許を取得
	三月	松下電気器具製作所が旗揚げ
	四月	北海道帝国大学発足
	五月	宝塚少女歌劇団、帝劇で初公演
	六月	スペインでスペイン風邪が大流行
	七月	米価が暴騰、米穀取引所が停止
	八月	政府が、シベリア出兵を宣言する
	九月	東京海上ビル完成（初のビルヂング）
	十月	森永製菓「ミルクチョコレート」発売
	十一月	独と連合軍が休戦協定。一次大戦終結
	十二月	政府、シベリアからの大規模撤兵を決定
大正八年	一月	松井須磨子が自殺
	二月	スペイン風邪の死亡者は三十八万人と警視庁
	三月	東京で初の乗合バス「青バス」登場
	四月	山本実彦、月刊誌「改造」を創刊
	五月	東京の女学校で下穿き（下着）の一斉着用
	六月	コカコーラが初めて輸入される
	七月	乳酸飲料「カルピス」が発売される
	八月	上野動物園に、朝鮮・李王家寄贈のカバ到着
	九月	大阪国技館が落成
	十月	東京の物価続騰、前年比二十二％高と日銀
	十一月	平塚らいてう、新婦人協会の結成を発表
	十二月	C51形機関車が名古屋浜松間を試運転

竹久夢二（一八八四〜一九三四）は岡山県出身の画人で、代表作として黒船屋などがある。
恋多き人柄で交際する女性が変わるたび画風が変わったという。写真は代表作のひとつ「立田姫」（毎日新聞提供）



ソフトフォーカスの白黒写真

大正美人を写真で振りかえる

——絵画や写真に見る大正美人——

明朗活発な女学生や凛々しい職業婦人、カフェーの女給、モダンガールなど、大正時代の美人を今に残す絵画や写真。

代表的なものでは、多くの女性の心を射抜き、現代でも高く評価されている竹久夢二の美人画（注1）がある。

写真では、写真感材の進歩もあって、ようやく湿式写真からロールフィルムを使用した蛇腹式カメラ（スプリングカメラ）などが使われるようになった。大正時代のポートレート写真を代表するものに「ベス単（注2）」を使った女性の写真がある。詳細な説明は省くが、極端なソフトフォーカスの写真で、軟調な淡い描写が好まれた。写真自体は印刷工程を経るため、軟調ではなくしっかりとピントのあった写真を使っているが、女性モデルを使った寿屋（現、サントリー）の赤玉ポートワインの宣伝ポスターなどに多くの人気が集まった。

※注1「竹久夢二」　大正時代の人気画家。痩身に大きな瞳の女性といった独特の美人画で人気を博した。一九一四年（大正三年）夢二が三十歳のとき、十二歳年下の美学校に通う笠井彦乃と出会う。五年後に肺病で彦乃を失うが、彦乃との死別は数々の傑作を残すきっかけとなった。代表作は一九一九年（大正八年）の黒船屋。ほか多数。

※注2「ベス単」　コダック社の蛇腹式カメラ、ベスト・ポケット・コダックを使った写真テクニック。1群2枚のレンズ構成のベスト・ポケット・コダックのレンズフードを外すことによってソフトフォーカスの効果を得た。多くのカメラマンがこのテクニックを使用。傑作をものにした。35ミリフィルム（普通の写真フィルム）より大きいベスト判（横幅四十ミリのロールフィルム、127フィルム。コダック社は一九九六年に製造を中止）を使用。

◆大正の化粧品・ヘチマコロン

大正時代の女性に好まれた化粧品が一九一五年（大正四年）に発売されたヘチマコロン。ヘチマ（糸瓜）は江戸時代の初めころ、日本に伝えられた瓜科の植物で、ヘチマ水（注3）も「万葉の肌」といったキャッチコピーで売られていた。ヘチマコロンは文字通り、ヘチマ水を含んだ自然化粧品。基礎化粧品として大正美人のお肌をひきしめ、ほのかに漂う香りは、世の殿方を魅了した。

現在でも、株式会社ヘチマコロンからオーソドックスな「ヘチマコロン」のほか、ジェルタイプの「ヘチマコロン　ボディアクアジェル」などが発売。何世代にもわたって愛用されている。

※注3「ヘチマ水」　旧暦の八月十五日、満月の夜にヘチマから採取する天然保湿液で、グリセリンやエチルアルコールなどを加えて保存性を高めた。ヘチマの季語は「秋」。



ヘチマコロンは大正四年に天野源七商店（現・ヘチマコロン）が、当時一般家庭で作っていたヘチマ水を商品化して売り出した物。洒落た商品名と広告で評判を呼んだ。（株式会社ヘチマコロン提供）



ヘチマコロンを売り出すに当たり、当時の有名デザイナーでありイラストレーターであった竹久夢二を起用。写真は当時の新聞。左下にヘチマコロンの広告が見える。（株式会社ヘチマコロン提供）

大正浪漫探訪記

大正時代の企業家たち

職人技から生まれたシャープペンシル

―不屈の企業家・早川徳次―



写真は、当時の作業場風景。シャープペンシルは発明当初は全く受注が取れなかった。しかし海外からの受注が入ると状況が一変。たちまち生産が追いつかない状況に。(SHARP株式会社提供)

現在、我々が使用している文具、シャープペンシルを発明したのが、現在のシャープ株式会社の創業者、早川徳次（一八九四～一九八〇）である。当初は金属加工業を営み、一九一五年（大正四年）に「早川式繰出し鉛筆」を発明。その後、世界各国で特許を取得する。

当初は振るわなかったこの商品も、海外からの買いつけが殺到したため、一躍飛ぶような売れ行きを示した。名前の由来は、文字通りいつでも芯の先端が鋭い画期的な鉛筆ということで、「鋭い」という意味を持つ「シャープ」から「エバーレディーシャープ」と命名。これが現在のシャープ株式会社の社名の由来ともなっている。当時のシャープペンシルは現在の一〇〇円シャープのような軽いプラスチックの外板ではなく、金属製のボディを持つ「大人の装身具」だった。

シャープペンシルは高級感のあるデザインに鋭い書き味、消しゴムで消すことができる「鉛筆」の手軽さを併せ持つことから大人気を博す。大ヒットにより、カレンダーやハサミつき、方位磁石、体温計つきといった多機能型？　シャープペンシルも作られている。

シャープペンシル以外にも同じ時期に特許を取得した筆記具がある。一九〇七年（明治四十年）にW・A・シェーファーが近代的な万年筆を開発。インク瓶にペン先を入れ、万年筆の内側のゴム製のチューブにインクを吸い上げるレバー充填式機構を装着した万年筆を完成させる。翌一九〇八年（明治四十一年）にシェーファーは特許を取得し、自らの名前を冠した万年筆メーカーを興している。

同時期の筆記具は、今ではマンガ家しか使わなくなったが、インク瓶にペン先を浸す「つけペン」が有名。日本では一般的に「筆」が主流であった。

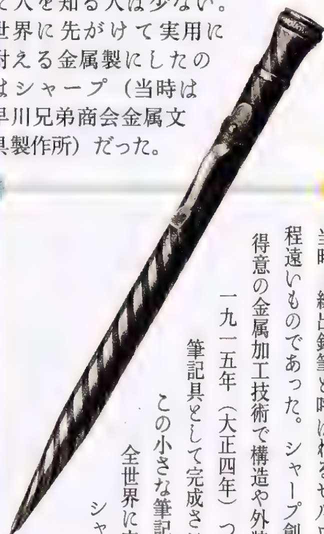
◆七転び八起きで鉱石ラジオを発売

文具メーカーとして、順調に売り上げを伸ばしていた早川徳次だったが、一九二三年（大正十二年）九月一日の関東大震災で被災。全工場と家族を失ってしまう。しかし、その後、大阪に移転。一九二五年（大正十四年）には、筆記具とはまったく異分野の製品・鉱石ラジオを製作。再起する。以降、自社の商品ブランドを「シャープ」に統一。一九五三年（昭和二十八年）には国産のテレビ受像機を開発。一九六〇年（昭和三十五年）にはカラーテレビを発売。業績を伸ばしていく。早川電気工業株式会社を経て、一九七〇年（昭和四十五年）に現在のシャープ株式会社が誕生。ゲームファンにとっては、ファミコン（一九八三年・任天堂）のCPU、6502のカスタムチップを供給したメーカーとしても知られている。

歴史に「もし」はありえないが、もし、関東大震災が起こっていなかったら、「シャープ」も電機メーカーではなく、今日とは違った道を歩んでいたかもしれない。

時代の先端をゆく

今では誰もが知っているシャープペンシル。しかし、それを実用化した人を知る人は少ない。
世界に先がけて実用に耐える金属製にしたのはシャープ（当時は早川兄弟商会金属文具製作所）だった。



当時、繰出鉛筆と呼ばれるセルロイド製の筆記具はあったが、実用には程遠いものであった。シャープ創業者の早川徳次は、得意の金属加工技術で構造や外装を変えることに熱中し、一九一五年（大正四年）ついに堅牢で美しいニッケル製の筆記具として完成させる。これが後のシャープペンシルとなるのである。

この小さな筆記具はその後、空前の売上によって全世界に広まっていき、シャープペンシルは世界の共通語となってゆく。

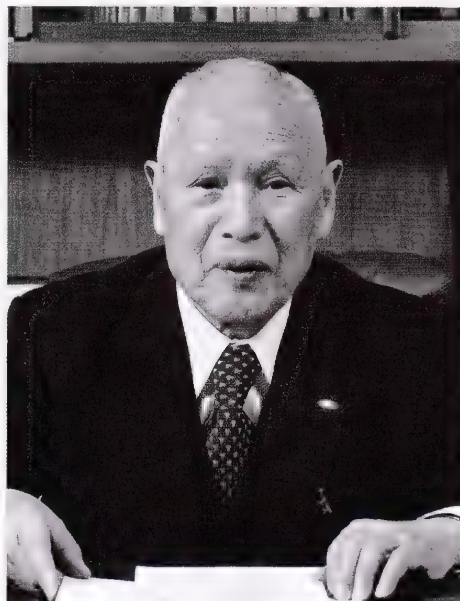
いつの時代でも、先端をゆくには少しのアイデアと情熱があればいい。
そしてシャープペンシルがあればいい。



SHARP



一九一五（大正四年）に早川式繰出鉛筆を発明。エバーレディシャープペンシルと名付けて一世を風靡。
この小さな発明が社名および商標である“シャープ”の由来となった。（SHARP株式会社提供）



早川徳次（一八九四〜一九八〇）
かんざし職人の手習いから身を起こし、早川電機工業株式会社を創業。震災で会社と家族を失うも、努力を続け現在のSHARPを作った。
（SHARP株式会社提供）

大正浪漫探訪記

川のある町・江戸

江戸の文化を今に伝える花火大会

―市井の人々の暮らし・交通の変遷―

◆海上交通から陸上交通へ

東京＝江戸は、長らく「川」の街であった。現在では隅田川や神田川など、ごく一部にしかその面影が残されていないが、鉄道ができるまでは、渡し船など海上交通が盛んだった。

現在でも東京で「橋」の地名が残されている「京橋」「日本橋」「数寄屋橋」などは、そこに昔は川が流れており、そこに架けられていた橋の名前に由来している。今は埋め立てられて高架が建設。かつての川の上を高速道路が走っている。

日露戦争では、軍事物資の運搬を目的に、それまで経営者がばらばらだった私鉄を買い上げる形で鉄道網（国鉄・今は再び民営化してJR）が整備されたが、大正時代は馬車に代わって車が台頭し始めた時期でもあった。一九一八年（大正七年）一月一日には、警視庁が交通取り締まりに「赤バイ」（赤く塗装されたオートバイ。インディアンなど六台）を配備。また、一九一九年（大正八年）一月十一日には、内務省が自動車取締令を公布。時速二十四キロの制限速度、交通処罰などを定めた。制限速度の二十四キロは、現在では、ずいぶん遅いようにも思えるが、当時の日本の道路のほとんどは舗装道路ではなかった。

東京にタクシーが登場したのは、一九一二年（大正五年）の「タクシー自動車株式会社」。数寄屋橋に営業所を構え、アメリカのT型フォードを六台導入。料金は一マイル（一．六キロ）まで五十銭、半マイル毎に十銭。当時の山手線は一区間五銭、市電は四銭の時代である。しかし、第一次世界大戦の好況もあって、一九二一年（大正十年）にはタクシーの台数は一二〇五台にまで増加する。



両国の川開きは、享保十八年、八代将軍吉宗が疫病死者の慰霊と悪霊退散を祈って始められたもの。掛け声に使われる「玉屋」「鍵屋」は江戸の有名な花火職人の本家。（一九五〇年撮影：毎日新聞社提供）

◆夏の風物詩・隅田川花火大会

「江戸」から「東京」に名前を変えてから五十年。文明開化による変革で近代化や洋装が定着したものの、まだまだ街の生活には「江戸的なもの」が数多く残されていた。なかでも夏の風物詩ともいえるのが、一七三三年（享保十八年）の玉屋、鍵屋で有名な「両国の川開き大会」から始まった隅田川花火大会である。

両国、駒形橋や隅田川沿いの川べりや橋の上には、花火を見物する人々、浴衣姿の娘や子供、家族連れで賑わい、川には多くの屋形船が繰り出し、夜空に浮かぶ大輪の花、花火を楽しんだ（注1）。

その後、一時期中断されていたが、隅田川花火大会は一九七八年（昭和五十三年）に復活。平成の現在でも続いており、一晩で合計約二万発の花火が打ち上げられる。夜空を彩る一大イベントとして親しまれている。

※注1　夏の夜に、船を浮かべて涼をとる船遊びは、当時の江戸の庶民の粋な過ごし方の一つであった。夏の暑い盛りともなれば、多くの平底の屋形船が川べりに浮かび、提灯の明かりが川面を埋め尽くすほどだったという。なかでも、両国の川開き（隅田川花火大会）当日は、人気が集中。船宿は通常の三倍の料金をとった。



両国の川開きをひかえ、桟敷で場所取りをしている人達。奥のほうに屋形船が連なっているのが見える。川辺に船を浮かべて涼をとるのは下町の夏の過ごし方だった。（一九一五年撮影：毎日新聞社提供）



戦争や、交通事情の関係で何度か廃止されるも、その度に復活して現在に至る。名称を「隅田川花火大会」と変え、東京の夏の風物詩として多くの人々に親しまれている。
（オリオンプレス提供）

巴里の大正浪漫のこと

松山　猛


1889年のパリ万博の様子。産業という相の下に美術をも取り込み、大いに観客を沸かせたこの万博の最大の目玉は、建築技師アレクサンドル・ギュスターヴ・エッフェルの手によって建築されたエッフェル塔だった。

戦後生まれの僕が、日本では大正時代にあたる、西暦一九一〇年代のパリについて語るのには、少し無理があると思われる方もおられようが、しばらくの間おつきあい願おう。

僕がはじめて花の都パリを訪れたのは、一九七三年のことだった。当時のパリにはまだまだ戦前を思わせる風景がたくさん残されていて、僕は愛読書たるギョーム・アポリネールの詩集や、久生十蘭の『十字街』、フランシスコ・カルコの『巴里の冒険者たち』を片手に、この歴史の積み重なった都市の隅々を歩きまわった。

パリは一九世紀なかばに、ナポレオンⅢ世の命を受けたジョルジュ・ウージェーヌ・オスマンによって大改造を受けて、現在の街路網を持つ都市に生まれ変った。セーヌ河の中州シテ島を中心に、渦巻状に区分され、旧城壁をつなぐ環状道路の各門から逆放射状に大通りが結ばれる道路網が完成した。

エッフェル塔が建てられたのは、そんな一九世紀の終盤一八八九年の万国博覧会を記念してのことだ。

そして一九〇〇年、ちょうど今から百年前の一九世紀最後の年にも、再び万国博覧会がパリで開かれ、その目玉が地下鉄の開通というイヴェントだった。一九一二年、大正元年というのは地下鉄が走って十二年、だが地上には走り始めた自動車と共に、昔ながらの辻馬車や荷馬車が道路を往き交う時代だったのである。



パリ南部、リュクサンブール公園の南西方の地区がモンパルナスである。20世紀初頭に前衛芸術家やロシアの亡命者が集まり、当時最新の思想や文化の発地であるとともに、カフェーや劇場の並ぶ歓楽街でもあった。

時代はアール・ヌーヴォーから、アール・デコラティフへの変り目に当り、巷には新芸術があふれていたことだろう。

世界で最初の映画、シネマトグラフは今世紀初めにパリで公開されたが、その映画発明者リュミエール兄弟や、SF映画の元祖ジョルジュ・メリエスの『月世界旅行』が話題となった時代、リュミエールが創ったパテ・ゴーモン映画会社の映画館は、見事なアール・ヌーヴォーの曲線にあふれた建物で、人々を驚かせた。

日本からの渡航者や滞在者も増えつつあった。詩人萩原朔太郎は「ふらんすに行きたしと思へども　ふらんすはあまりに遠し」と詠んだが、一人の画家がパリを目ざしそこに暮す。彼の名は藤田嗣治、後にレオナルド・フジタと呼ばれる数奇な運命を生きた画家だ。

軍医だった父と旧幕府の家老職の娘であった母のもとに生まれ、少年時代から画才があった藤田は、東京美術学校卒業後、父親の支援を受け一九一三年、大正二年に長い船旅の末パリに到着。

当時パリではカルコが描いたモンマルトル全盛の時代が終り、文化の中心が新興地区のモンパルナスに移ろうとしていた時代だった。

ピカソが洗濯船（バトー・ラボワール）（写真下）のアトリエの赤貧時代から華々しきデビューを果し、税関吏アンリ・ルソーが話題となり、詩人、画家、哲学者、革命家たちが、モンパルナスのカフェに集って、芸術や人生を、そして革命について熱い議論をくりかえした時代であった。

藤田がそんなパリっ子たちのあいだで一目置かれる存在になった大正三年、一九一四年に第一次世界大戦が勃発する。

ミシェル・トリンクヴェル社刊の『パリ資料（アルシーヴ・ド・パリ）』という本には、今世紀始めから第一次大戦後頃の写真が豊富にあって面白い。

町角のシャンソン唄いや物売り、ロングドレス全盛の女性ファッションが、ポワレそしてココ・シャネルの登場によって機能的なモガ・ファッションに変化していくさまが見てとれる。屋根付きのショッピング街“ギャラリー”や“パッサージュ”が人気を呼び、屋台のアイスクリーム屋に子供がむらがる。



ピカソなどの画家や作家が売れない頃に過ごした下宿屋が、パリ・モンマルトルにある“洗濯船”である。モンマルトルは1870年代に、芸術家やボヘミアンが集まり、特有の雰囲気を持った歓楽街として発展した。

ジャン・コクトー（1889−1963）。
フランスの作家。多彩な才能を持ち、詩、小説、戯曲、映画、批評、絵画の分野で幅広く活躍した。レイモン・ラディゲを見出したことでも知られる。代表作「美女と野獣」など。



ガブリエル・シャネル（1883−1971）。
フランス出身の女性服飾デザイナー。"ココ"は彼女の愛称である。着やすい婦人服をモットーに、独自の服飾デザインを創始し、パリで高級衣装店「CHANEL」を開いた。



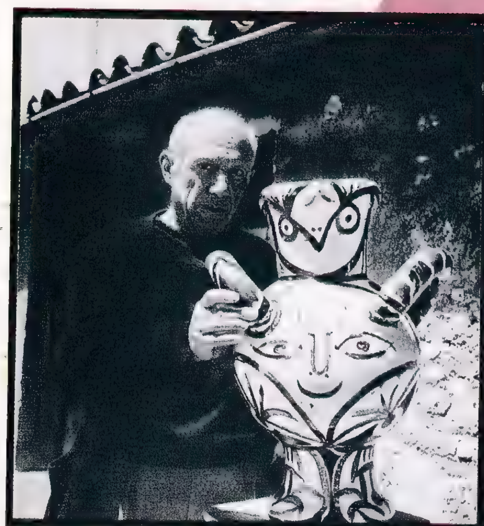
記録写真家アッジェが撮り歩いたその時代のパリ郊外には、都市生活から吐き出されるボロや古道具を集めて売る人々が暮らし、現在の蚤の市の原形が出来あがる。

パリは天国と地獄が同居する街であり、毎夜舞踏会やシャンパンを楽しむ裕福な人々と商店主、職人、料理店やカフェの主人、月給生活者や役人などの中間層、そして貧民に列する下層の人々やジプシーなど、ありとあらゆる人々にあふれる街であったろう。

大正七年、一九一八年に第一次大戦が終ると、パリには再び芸術の風が吹き、ピカソ、マチス、ブラック、ドラン、ユトリロ、モディリアニ、レジェ、シャガールなどの画家、そしてアポリネール、コクトーのような詩人が、モンパルナスを舞台に大活躍を始める。

アメリカからはアーネスト・ヘミングウェイが新聞特派員としてパリに来て、数々の名作の着想を得たり、『日はまた昇る』を書きはじめる時代が来るのだ。

宝石商カルティエが、第一次大戦から平和を取りもどしてくれる力となった、アメリカ義勇軍戦車部隊に敬意を表して、腕時計『タンク』をデザインして売り出し、そして本格的な飛行機の時代が始まる。



パブロ・ピカソ（1881−1973）。
スペインの画家。主にフランスで活躍。ブラックとともにキュビズムを創始、以後次々と現代美術の領域・様式を開拓して、20世紀美術に大きな足跡を残した。代表作「ゲルニカ」など。



アーネスト＝ミラー・ヘミングウェイ（1899−1961）。
アメリカの小説家。第一次世界大戦に従軍し、負傷。その経験を元に「武器よさらば」などを発表して作家としての地位を確立した。他作品に「老人と海」など。



マルク・シャガール（1887−1985）。
ロシア出身の画家。パリに出て南仏に定住。エコール・ド・パリに属し、シュール・レアリスムの先駆者の一人でもある。幻想的な筆致で色調は光彩に富む。代表作「わたしと村」。

一九一七年、大正六年にはロシア革命が起こり、次いで大正八年にドイツでは皇帝が退位しワイマール共和国が生まれ、ヨーロッパに激震が走る。

日本国内では『大正ロマン』と、後に言われる時代だが、世界は近代化に向けて生みの苦しみを味わいつつある、苦い時代だったのかも知れない。

大正のパリを訪れた日本人には、柔道家の石黒敬七や、バロン薩摩と呼ばれた高等遊民、薩摩治郎八がいた。石黒敬七は帰国後『巴里雀』など軽妙なエッセイで、パリの魅力を日本に伝えた人物で、第二次大戦後はラジオ放送「とんち教室」にも出演した元祖マルチタレントだった。

バロン薩摩は大商人の息子でパリに遊学、銀ボディーのロールス・ロイスに乗り、日本留学生のための日本館を建てるなど、派手な話題に包まれた貴公子然とした人物だった。

僕がパリを歩きまわり始めた七〇年代には、古いスタイルの、炭屋が兼業しているカフェ、“カフェ・シャルボン”の最後の数件があり、下町風シャンソンのふる里ベルビルにも、古い荷物用手廻しエレベーターが残るワイン問屋で、盛りきり一杯のワインが飲めた。

パリの胃袋レ・アル（中央市場）や、ワイン倉庫が並ぶベルシー河岸も昔の姿を残していた。

一人前およそ三百円也で、前菜、メイン、デザートに、パン&ワインを食べることができた。庶民と学生の味方のような親父がやっている気っぷの良いビストロもあり、町なかには古めかしい商いをする人々も多かったものだが。

僕が子供の頃に大人たちは「明治は遠くなりにけり」と、過ぎていった時代をなつかしんだものだが、今や、大正も昭和も遠い昔になってしまおうとしている。願わくば古書店か図書館で、かつて僕が愛読した書物を見つけて、古い時代のことを再発見して欲しい。

なぜならそれは、美しさと冒険と、好奇心にあふれた、人間臭い時代だからである。



松山猛

1946年京都東山生まれ。市立日吉ヶ丘高美術課程西洋画科の卒業後、グラフィックデザイナーとなる。1968年、音楽仲間たちと書いた「帰ってきたヨッパライ」が大ヒット。その後、東京で雑誌「ポパイ」や「ブルータス」などの創刊に関わり、現在はエッセイやテレビなど様々なメディアに活躍の場を広げている。著書は「智の粥と思惟の茶」「ワーズワースの庭で」など多数。最新の著書は「めるかと」（風塵社刊）。

写真協力　オリオンプレス

― 季節を語る ―

夏

エッセイ 来生えつこ

思いきり夏女

日本人に、四季のうち、どの季節が一番好きかというアンケートをしたら、夏、ことに真夏と答える人は、春、秋より少ないと思う。真冬よりは多いかもしれないが、どうでしょう。

中年以上の人に尋ねたら、夏という答えは、きっともっと少ないと思う。夏は、ひたすら暑いというイメージで、春や秋などと比べると、木々の彩りや風のうつろいなどの、微妙な変化に乏しいからか。

でも、私は、中年以上の歳だけど、数少ないだろう夏大好き人間です。もう夏だけあればいいというくらい。まず、魅力は、なんといっても海。泳ぎ、潜る。ただ海を見ているだけでも、うれしい。都会の夏はさすがに私も閉口しますが、海辺の夏は最高です。なにしろ軽装でいい、ずっと裸足でいられる（これは都会にいてもできるけど）。面倒がなくていい。

同世代の女友達には「えつこさん、もうこの歳で、陽に灼いたら絶対だめよ。若い人だって陽灼けは避けてるわ」と、心配する人もいます。確かに、一部のガングロ系を除くと、世は美白時代。しみ、そばかすのもと、肌に悪いと、化粧品業界が先導し、陽灼け予防に躍起です。

けれど、私はやはり灼かないと気がすまない。さすがに若い頃のように真っ黒にはしませんが、結構灼きます。もともと地黒なほうで肌が強く、皮がべろべろになるということはありません。それに、夏、海で灼いておくと、冬場、風邪をひきにくい。

だいたい、夏場、若い男女が青白い肌をしているよりも、ほどほどの小麦色になっているほうが、見ていても気持ちいいでしょう。

また、もともと日本人は、原色の服（和服は別）を、あまり着ませんが、着るとなったら、やはり夏でしょう。リゾートなどに行くと、生白い肌に、アロハなどの原色花柄系を着てる人がいる。なんだかとりあえず、そういう場所だから着てみましたという感じで、浮いていませんか。多少、自然に灼けていて、小麦色のほうが似合うはず。

都会の街なかでも、夏こそ冒険をしてみたい、派手めのものを着てみたいと思い、実際、着ても、肌が真っ白というのはねぇ…。黄色人種なんだから、適度の陽灼けは大丈夫だと思いますが…。

真っ赤、真っ青、真っ黄色、真緑、真紫、オレンジなど、原色を着ておかしくない季節、それが夏です。私は着ます。

そういったふうに夏大好き人間だから、歌詞も、夏の歌、夏の情景を書いたものが多いし、得意です。弟（来生たかお）に書いた詞も、半分以上は、夏がらみの詞です。

たまたまヒットしたものが、もろ夏という歌でないのと、たかおの

©オリオンプレス

歌声と曲調がソフトなので、例えばチューブのナンバーのように、思いきり夏という感じではありませんが、歌詞だけを読んでもらうと、めちゃくちゃ夏が多いのです。冬を歌った詞は、本当に少ない。また、春、秋の歌でも、夏がからんでくる場合が多い。

例えば、春の歌だとしても、初夏っぽく、これから来る夏を待っているとか。夏に向けて開放に向かっている心具合、恋模様だったり。背景が秋の場合は、逝く夏を惜しんでいる歌が多く、すっかり秋になっているのに、過ぎた夏の恋を思っていたりする。

実際、私にとって夏が終わって秋になるという時期が、一番悲しい。若い頃は、本当に秋風を感じて涙したことがあります。「ああ、夏が終わる。陽射しが弱くなった、風も淡い…」と、夕日を見ながら、泣きました。

「秋は夏を殺す殺人者」という詩を、何かで読んだ時、そのとおりだと思いました。だって、秋が来たら、そのあともっと暗い冬が待っている。いやです。

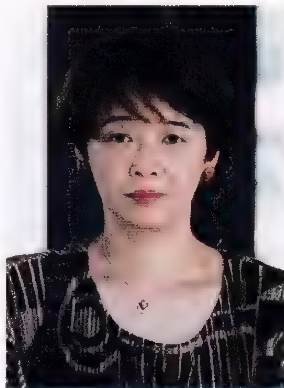
若い頃から徹底した夏女でしたから、冬の遊びは、いっさいしない。スキーなんて板に触ったこともありません。だから、ユーミンのように、スキー場のロッジでどうしたこうしたという詞は書かないし、書けません。

真っ青な海、太陽、カラフルなパラソル、水着、夕暮れ時の逆光にきらめく銀色の海、波、潮風、波音、それさえあればいい。

今、まさに夏が来ようという季節、ある海べりで、この原稿を書いていますが、夏が来ることをうれしがるとともに、夏が終わる時の寂しさをもう想像したりして、悲しくなったりもします。

夏、真っ盛りとなれば、ただ夏を楽しんでいるのでしょうが、今はまだ少し中途半端な気分で、海を眺めています。もう海には二度ほど入りました。でも、まだ水は冷たい。

早く来いよ、私の夏。



来生えつこ

作詞家。東京都出身。フリーライターを経て、弟・来生たかおのデビューとともに作詞家に。代表作は「夢の途中〜セーラー服と機関銃〜」など多数。結成十五年の草野球チームのオーナーでもあり、無類のスポーツ観戦好き。

昔ながらの職人を訪ねて





現代印刷技術の原点 華麗な技が光る浮世絵

第二回 浮世絵木版画職人「関岡扇令」

新聞や雑誌、書籍など、いまや世間であたりまえのように目にする印刷物。現在の印刷技術の発達ぶりにはめざましいものがあり、その数も増大してきている。

日本でこの印刷物が飛躍的に発展したのは、民衆に娯楽や教養をもたらした仮名草子や浮世絵などが大流行した江戸時代のころ。その当時の世界を見ても、これほどまでに印刷物が庶民のあいだで流布した例は確認されていない。とくに日本の浮世絵に関しては、日本の伝統的な美術の代表であり、国際的な知名度を得ていた。

この浮世絵の「うきよ」とは、日本民族特有の現世観を表すこと言葉。つまり浮世絵とは、その当時の庶民（おもに江戸町人）の現世での享楽を表し、それを庶民が観賞して楽しむための絵、ということになる。浮世絵には、「肉筆画」と、木版という技術によって大量生産する「木版画」の二種類が存在する。

世界に誇る浮世絵は職人が生んだ工芸

現在使用されている印刷技法は、凸版、凹版（銅版などを彫るエッチング）、平版（オフセットやリトグラフ）、孔版（シルクスクリーン）といった種類があり、用途により使い分けられている。このなかでも、印刷技術の原点として、世間でもっとも早く発達したのが、木版による凸版印刷術である。木を彫り、それにインクをつけて紙に転写。小学生のときに誰もが一度は経験する版画は、この凸版印刷術を利用したもので、浮世絵版画と同様の技法を用いているのだ。

浮世絵版画は、元禄（一六八八～一七〇三）のころ、菱川師宣によって始められたといわれ、当初は、墨一色で摺った「墨摺絵」であった。やがて、墨一色の上に丹黄緑などを筆で部分彩色した「丹絵」が現れ、その後は、丹から紅を主色とした筆彩色の版画「紅絵」、墨の部分を強調するために膠を混ぜて筆彩色したり銅粉などをふりかけ豪華に筆彩色した版画「漆絵」、墨版の上に紅を主とし、緑藍黄などに三色の色版を重ねて摺った版画「紅摺絵」と、いくつもの変化を見せている。



■関岡扇令
七十五歳。摺師。父である初代扇令師に師事、昭和三十六年に二代目を襲名。現在では江戸期の名画と呼ばれる浮世絵版画を復刻する傍ら、現代版画のプロデュース、千社札の研究など、多方面で活躍。東京都荒川区指定無形文化財（木版画摺）、荒川区伝統工芸技術保存会副会長など、肩書き多数。

いまや一般的となった多色摺りの華麗な浮世絵が登場するのは、明和期（一七六四～一七七一）のことで、そのころには美人画では喜多川歌麿、役者絵では東洲斎写楽、風景では葛飾北斎、歌川広重らの有名な浮世絵師が続々と登場している。これら絵師に、彫師、摺師の名工、蔦屋重三郎を頂点とする有能な版元たちが協力するかたちで、世界に名だたる江戸の錦絵、浮世絵版画が生まれたのである。



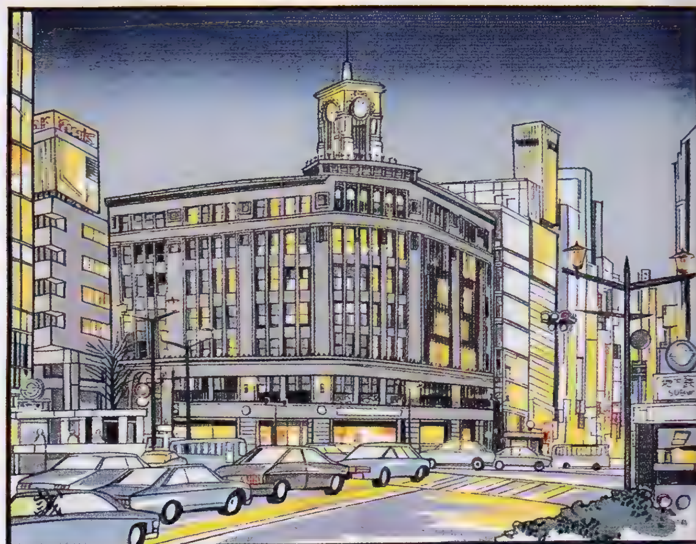
浮世絵の制作行程は、いまの出版界とほとんど同じだ。まず版元ががどんな絵を作るか企画をし、その意図に従い絵師が下図を描く。版元の了解が



版木彫りの作業。伝統的な江戸木版画の版木には、木目が細かく、ねばりが強い桜の一枚板が使われる。線は小刀、背景などはノミとげんのうを使って彫っていく。版木は固定して彫るため、どの角度からも小刀を駆使できるようになる熟練の技が必要。小刀の握りが特徴的。



摺りの作業。摺りに用いる道具は、ノミ、ばれん、大小の刷毛など。基本となる主版を摺る際は、もっとも神経を使う。多色摺りは、版木の隅に彫ってある「見当」と呼ばれる二つ印を基準にして色板を摺り重ねて行なう。ばれんの力の入れ具合で、ぼかしなどの高度技術も可。



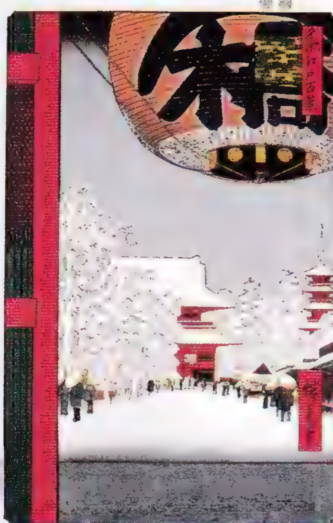
関岡さんが現在プロデュースする現代版浮世絵版画の一枚。銀座の夜景を描いたもの。下絵、彫り、摺りと、制作の行程はむかしの浮世絵版画と同じだが、描く対象物が変わるだけで、その印象も大きく違う。一見すると浮世絵版画に見えないかもしれないが、摺られた色のもつ独特の味わいは、やはり浮世絵版画そのものである。

てたところで、墨一色の版下絵を制作して、それを彫師に渡す。彫師は、和紙に描かれた版下絵を裏返して版木に貼り、そこに透けて見える墨線に沿って、小刀やノミなどで彫っていく。こうして最初にできた墨版（主版）を使って、色数分だけ校合摺りを作成。それに絵師が色差しをし、彫師は色数だけの版木（色板）を彫る。色板は摺師のもとに渡り、摺りの作業に入る。和紙（奉書紙）に色をよくのせるために水を含ませ、基本となる主版を摺る。次に顔料を水で溶き、膠で色止めをして絵具を作り、薄い色から色板を版数分だけ摺り重ねていけば、完成だ。

「職人の作るものは、お客さんに使われなくてはいけないんです。浮世絵は、いままでいうブロマイドや絵ハガキのようなもので、本来は芸術品ではなかったんですよ。だから、いまでも皆に使われるような浮世絵版画を作っていきたいんですが、なかなか難しくてねぇ」

職人ということに誇りをもつ関岡さん。いまや芸術品となってしまった浮世絵版画を、関岡さんはもっと多くの人に見てほしいと、活動を続けている。その活動が実を結び、伝統が守られていくことを願いたい。





左の二枚の浮世絵版画は、同じ浅草の雷門を描いたものである。左の大きなほうが、関岡さんがプロデュースした現代版。右の小さなほうは、歌川広重が約百五十年前に作成した浮世絵版画を復刻したもの。単純にいまとむかしの雷門を比べてみるのもおもしろいが、浮世絵版画としてのできを比較してみてほしい。じゅうぶんに作品として比肩するものに仕上がっているのが良くわかる。

帝都市民にも話題沸騰!!

TEITO NEWS

帝都ニュース

帝劇スタアを起用した蒸気歩数計 登場

帝都の生活状況を調査している機関の報告により、最近の帝都市民の間で蒸気歩数計なるものが大流行していることが明らかになった。さらに、このほど登場する最新版の蒸気歩数計は、帝都市民に絶大な人気を誇る帝劇スタアが登場するとかで注目を集めている。



左は、メディアファクトリー社より発売される蒸気歩数計「ポケットサクラ」本体。大きさは手ごろで、サクラ色の本体もかわいらしく、女性からの評判も上々。下は画面に表示される帝劇スタア。



先ごろの蒸気製品の発展には目覚しいものがあり、さまざまなものが登場して市民の生活を豊かなものにしている。そのなかで最近市民の注目を集めているのが、歩いた歩数を計測する蒸気歩数計である。この歩数計を腰のあたりにつけておくだけで、自分が歩いた歩数を自動的に計測し、それを瞬時に画面表示してくれるというもの。

今回本誌がお伝えするのは、その最新機種としてメディアファクトリー社より発売される新商品「ポケットサクラ」の情報だ。この商品はただの蒸気歩数計ではなく、歩数などが表示される画面内に、本誌ではおなじみの帝劇スタア、帝国歌劇団・花組の面々が登場。真宮寺さくら嬢をはじめとした人気帝劇スタアの顔がいつでも拝めるのが売りだ。



携帯中の「ポケットサクラ」には、帝劇スタアの顔がつねに表示されるのである。

気になるその詳細だが、腰につけて歩くというのは、従来の蒸気歩数計と同じ。違うのは、最新版としてつけられたさまざまな機能。基本は、どこまで歩くか、その目的地を事前に設定し、決められた歩数を歩くという作業。見事に目的地までの歩数に到達すれば、さまざまな隠された機能が楽しめるようになるらしい。本誌もまだ詳細は入手していないので紹介はここまでだが、なんともお目見えが待ち遠しい商品である。



帝都タワーなどの帝都の名所を、帝劇スタアと回れるのだ。これはスゴイ！

1日1万歩で 運動不足解消に多大なる効果あり

蒸気歩数計を携帯して歩くことが、日ごろの運動不足解消に多大な効果があると、大学の教授たちのあいだでささやかれている。

近ごろは、蒸気自動車や蒸気鉄道などに代表される乗り物が世間に登場し、それを市民が日常的に使うようになり、市民の歩く機会が減りつつあるといわれている。たかが少々のことでも、これらの乗り物を使うことで、本来なら消費されるべき熱量が体内に蓄積され、運動不足はもちろん、肥満へと発展する心配もある。そんなときに効果的なのが、"歩く"という行為である。歩くことは、自然に行なえる全身運動であり、心臓や肺、呼吸器など循環器系の能力や血管機能を高めるのに効果的な有酸素運動のひとつで、持続して行うことでたくさんの効果があるとされている。だらだらと歩くのではなく、ほんの少し息があがるぐらいの調子で歩くのが効果的で、健康に気をつけるならば、一日一万歩ぐらいが理想だ。

そこで役に立つのが、蒸気歩数計だ。これを腰につけていれば、一日に歩いた歩数も簡単に把握できるし、なにより目標ができて楽しめる。帝劇スタアの登場する「ポケットサクラ」であれば、その効果も倍増するということであろう。



「ポケットサクラ」は目的地を設定できるので、さらに目標が作りやすい。

ニュース関連事項

ポケットサクラ



いつでもどこでも「サクラ」が楽しめる、歩数計つきの携帯ゲーム。美しいカラー画面におなじみ花組の面々が勢ぞろい。さくらといっしょに帝都の街を歩き、散策することで、ほかの花組のメンバーに出会うことができるなど、お楽しみがいっぱい。

●メディアファクトリー
●六月二十三日発売
●三五〇〇円（税別）

サクラ大戦GB 檄・花組入隊！



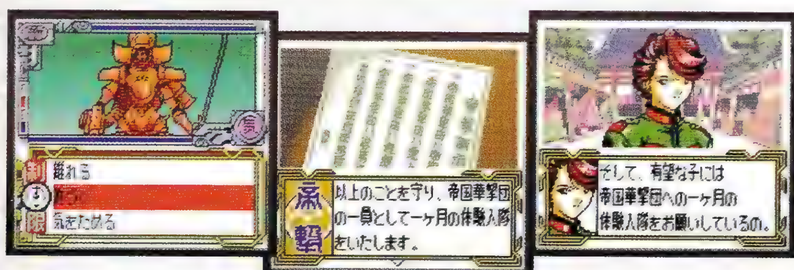
「サクラ大戦」がゲームボーイカラーで登場。主人公は帝国華撃団に見習い隊員として入隊。一カ月後の卒業試験合格を目指して奮闘。

●ゲームボーイカラー専用ソフト
●メディアファクトリー
●七月二十八日発売
●四八〇〇円（税別）

あの秘密部隊の存在が明らかに!?

帝都市民ならば誰もがあこがれる 帝国華撃団に体験入隊!!

帝都市民であれば誰もが帝国華撃団という組織の存在はご存知であろう。我々市民が住む帝都に降魔や怪蒸気が出現するたびにさっそうと現れて危機を救ってくれる、あの謎の組織だ。その帝国華撃団に体験入隊ができるという噂話が、いまや帝都で話題となっている。その真相を探る！



帝国華撃団に体験入隊をしないかと誘われた人間の協力のもと、その交渉現場に尾行させていただいて撮影した写真（写真右）。見たところ女性のようだが、彼女が帝国華撃団とどんな関係がある人間なのかは不明。残りの写真は、実際に帝国華撃団に体験入隊した人間から提供してもらった写真。右の怪蒸気らしき物体が気になる!?

　今回の噂話が本当ならば、すごいニュースである。その噂話とは、帝都においてたびたび目撃されている帝国華撃団なる組織に体験入隊できるというものだ。存在こそ市民によって確認されている帝国華撃団だが、いったいどんな組織なのか、どこに所属しているのかなど、まったくといっていいほど詳細はわかっていない。本誌の独自の調査によると、帝国陸軍になにやら関係がありそうなのだが、それも定かではない。有事の際に現れる、あのような兵器が本当に帝国陸軍の手で開発できるのかどうか疑問の声も多く、いまだ真意は闇のままだ。

　さて、本誌に寄せられたいくつかの噂話をまとめてみよう。まず、体験入隊をする人間には、帝国華撃団の人間から街中で突然声をかけられ、体験入隊を迫られるのだという。その後、体験入隊を迫られた人間には手紙が届き、正式な返答を求められるようなのだ。その際、帝国華撃団側の人間は、しきりに"霊力"という言葉を使っていたそうだが、これがなにを意味するのかは、まだわかっていない。

　ここで体験入隊に同意したという人間の話を照合すると、帝国華撃団への体験入隊は一カ月で、その間になんらかの成果を上げることができれば、正式な入隊へと発展するのではないかと思われる。入隊の際には、契約書への署名を求められるなど、事は本格的だ。

　これだけの情報があるということは、やはり本当か!?



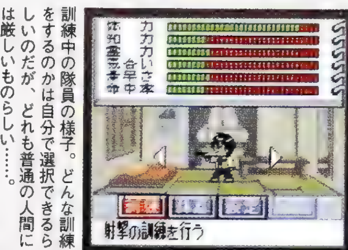
体験入隊は、帝国華撃団の本部で行なわれるらしい。それがどこなのかは謎。

体験入隊後には厳しい訓練が

　実際に帝国華撃団に体験入隊した人の話によれば、入隊後はさまざまな訓練が待っているらしく、それにはかなり厳しい能力が要求される、という報告がなされている。

　体験入隊後は、帝国華撃団の人間と同じ屋根の下での協同生活が待っており、一日の半分は訓練の時間にあてられているのだそうだ。体力や知力はもちろん、人間のもつあらゆる能力が試されるようで、その過酷な内容に、本誌に情報を提供してくれた男性も、三日で逃げ出してきてしまった模様。その男性の表情からは、どれだけ訓練がつらいものなのか、安易に想像できたほど。一カ月の訓練を乗り切ることができれば、晴れて正式な組織の一員となれるかもしれないだけに、その内容には本誌としても大変興味がある。引き続き体験入隊をしたという人間の報告を待ちたい。

　また、これは未確認情報なのだが、体験入隊の訓練では、驚くことに帝国華撃団の女性たちが相手をするとか!? ただいま事実を究明中である。



訓練中の隊員の様子。どんな訓練をするのかは自分で選択できるらしいのだが、どれも普通の人間には厳しいものらしい……。

えっ本当!? 体験者から衝撃の告白! 帝国華撃団に花組スタアが!?

　体験入隊をした人間の報告のなかに、本誌としては注目せざるを得ない情報があった。なんと、帝国華撃団の組織のなかで訓練をしているときに、あの人気帝劇スタアを目撃したというのだ。

　帝劇スタアと帝国華撃団の関連性については、以前より指摘されていることがある。それは、帝劇スタアが所属する帝国歌劇団と、秘密組織の帝国華撃団の名前が似ているということだ。これについて本誌では、帝国歌劇団は帝都であまりにも有名であり、本当の名を明かせない秘密組織が、ある意味混乱を招くために帝国華撃団の名を語ったと推測している。

　今回、体験入隊者から証拠の写真も入手しているのだが、それを見るとたしかに似ている……。



これが帝国華撃団の体験訓練中に撮影したという帝劇スタアらしき人物の写真。よく見ると、たしかに似てはいるのだが……!?

売り上げ累計150万本を超える大ヒットシリーズが
本格アドベンチャーゲームとしてゲームボーイ初登場!!

絢爛豪華な『サクラ大戦』の世界、すべてここにあり!

貴方も花組に入隊できる!

サクラ大戦GB 檄・花組入隊!

近々発売!

『サクラ大戦』はセガサターン用ソフトとして、一九九六年九月にセガより発売されました。帝都を守る秘密組織・帝国華撃団花組の隊長に任命された大神一郎少尉と、花組のメンバーとのコミュニケーションを軸に、政府転覆をもくろむ悪の組織・黒之巣会との激しい戦いを描き出し、大ヒットを記録して一大ムーブメントを築き上げました。以後、CDやビデオアニメ、ラジオ番組、演劇などあらゆるメディアに進出し、ファンの気持ちをがっちりとつかんでいます。現在も本年四月よりスタートしたTVアニメをはじめ、各種イベントやドリームキャストへの移植と新作開発、さらに二〇〇〇年以降公開予定の映画化とその勢いはとどまることを知りません。

その『サクラ大戦』シリーズがついにゲームボーイに登場します。ストーリーやキャラクターも従来シリーズ作を引き継ぎつつ、ゲームボーイという携帯性を活かした手軽さと、何度でも繰り返して遊べる深さを兼ね備えた本作は、これまでのシリーズ作とは異なり、任天堂のハードで『サクラ大戦』の新しい世界を展開します。

「任天堂のハードで『サクラ大戦』が発売される!」と昨年来からファンの話題にあがっていた本作だけに、開発チームは懸命の開発を続けてきました。そして、ファンの期待に恥じない作品に仕上がったものと自負しております。

※本作は、一九九六年発売の第一作「サクラ大戦」中のある一時期が舞台となっております。



本作のための完全オリジナルストーリー

本作のストーリーは、これまで発表されてきたどの作品とも違う完全オリジナル。シリーズを通して遊んでいる人にはもちろん、本作から始める人も納得の娯楽大作に仕上がっております。『サクラ大戦』の世界、ぜひ覗いてみてください。

先行して発売される『ポケットサクラ』と連動すれば楽しさ倍増!

6月23日に発売される携帯ゲーム『ポケットサクラ』と赤外線を使って通信することができます。『ポケットサクラ』で貯めたポイントを本作に送信して、本作の中に設定されたグッズショップにて買い物ができます。ここでは多彩なアイテムが用意され、これらのコレクションを集めることもゲームの重要なファクターになっています。

また、ポイント以外にも、通信機能による新たな要素の追加があります。

好評発売中!

『サクラ大戦』の世界を歩数計付き携帯ゲームに再現!

ポケットサクラ

さくらとお散歩!



●ポケットサクラとは?

本機は歩数計機能のついた携帯ゲームです。身につけて歩くことでさくらと一緒に帝都のさまざまな場所を訪れることができます。

●単なる歩数計じゃない!

ただ歩くだけではなく、目的地を設定してその距離に応じた歩数を歩くことで、銀座や上野などの場所や、帝劇や煉瓦亭などのサクラ大戦にちなんだ名所を訪れることができます。場所によってはイベントが用意されていたり、条件を満たすことで最初は帝都内だけだった行動範囲がどんどん増えていくなど、ゲーム性も非常に充実。ただ、歩くだけではなく、背景やキャラクターのグラフィックをコンプリートするといった楽しみ方もできます。

〝歩くだけ〟という従来の歩数計機能付ゲームのイメージを払拭するのが本機なのです。

タイトル名	ポケットサクラ
ジャンル	歩数計付き携帯ゲーム
発売日	六月二十三日(予定)
定価	三五〇〇円(税別)
発売元	メディアファクトリー

タイトル名	サクラ大戦GB 檄・花組入隊!
対象ハード	ゲームボーイカラー専用 ※「ポケットサクラ」赤外線通信対応
ジャンル	ドラマチックアドベンチャー
発売日	七月二十八日(予定)
定価	四八〇〇円(税別)
発売元	メディアファクトリー

●ゲーム画面は開発中のものです。
●ゲームボーイカラーは任天堂の登録商標です。



夏のあなたの運勢は？（7/1～9/31までの運勢）

ポンパドゥール・近松の運勢指南

牡羊座

三月二一日～四月二〇日生まれ

元気のよい夏となりそうですね。積極的に身体を動かし、自ら幸運を切り開くように心がけてください。七月はひらめきを大切に。ただ自己を尊重するあまり、他人の批評を無視するのはいただけません。耳の痛いことこそ真実かもしれません。夏の旅はのどかな地へ。

牡牛座

四月二一日～五月二一日生まれ

何かにつけ、非現実的なことに心を奪われそうな夏となります。将来の進路に悩んでいる人は、いろいろな本を読む、人との交流を深めるなどして、自分の知らない世界の広がりに目を向けてくださいね。ぜんそく気味の人は、八月の猛暑に用心を。病には要注意です。

双子座

五月二二日～六月二一日生まれ

七月に感じるストレスは徐々に克服されていくでしょう。この夏は、大小さまざまな変化があると思います。考えもしなかった意見に共感したり、既に出会っている人と親友になれるかもしれません。心を開き、人の良い面を見るように努めましょう。伝達事項は正確に。

蟹座

六月二二日～七月二二日生まれ

好調な夏ですが、九月だけは要注意。夏の疲れを残さないように用心しましょう。夏休みの旅行は早い時期がラッキーです。目的を達成できる運勢なので、何事も現実的で綿密な計画を立ててみましょう。蠍座男性は味方、天秤座女性は敵と理解しておきましょう。

獅子座

七月二三日～八月二二日生まれ

腰や背中の痛み、クーラー病に用心しましょう。若くても夏バテしますから、食事の配慮も必要です。友達の誘いと家の用事で板挟みになりそう。どちらを優先するにしても誠意ある対応を。夏休み明けに女性のライバルが出現。なかなか手強い強敵となります。

乙女座

八月二三日～九月二三日生まれ

この夏は、じっくり何かの研究に費やすと良いでしょう。すぐに結果が出なくても、細やかな神経を使う作業に没頭できると思います。キーワードは損して得を取れ。なくす物より得る物の方が大きいのでご安心を。対人関係の悩みは、九月に入ると好転します。

天秤座

九月二四日～一〇月二三日生まれ

心身ともに元気なので、充実した夏を過ごせると思いますが、八月の夏風邪に用心を。好調だという意識が強いため、つい無茶をしたくなります。限度を超えて羽目を外さないよう、ちょっと自制してくださいね。天体観測や音楽鑑賞は一人で。精神の安らぎを大切に。

蠍座

一〇月二四日～一一月二二日生まれ

出口のないトンネルはありません。現在の重苦しい心境も、近いうちに明るさを取り戻すことができるでしょう。ポイントは、周囲の態度や反対意見に過剰な反応をしないことです。他者の意見に反対するより、短所を認める方が建設的ですよ。東北方面への旅行運が吉。

射手座

一一月二三日～一二月二一日生まれ

夏の始めは厳しい運勢ですが、徐々に好転していくでしょう。対人面でのトラブルは、八月に入る前に解決したいですね。マリンスポーツやハイキングなど、夏向きのスポーツを思う存分満喫できそうです。体調管理と天候をよく見て、決して無理をしないように。

山羊座

一二月二二日～一月二〇日生まれ

自分と異なる価値観を持つ人の意見を大切にしましょう。妥協がないのは長所でもありますが、排他的な態度は改めたいですね。また、日本古来の伝統芸能や祭りに興味を持つかもしれません。神社や仏閣巡りが楽しめると思いますよ。ちなみに試験勉強はお早めに。

水瓶座

一月二一日～二月一八日生まれ

失敗は成功の元です。これからの方針を決めるためにも役立ててください。何事も前向きにとらえ、楽観的に考えるようにしましょう。夏休みは怪我に要注意！　言いにくいのですが、楽しい時こそご用心を。将来の目標がある人は、まずは基本的な勉強から。

魚座

二月一九日～三月二〇日生まれ

目の前がサーッと開けていく、そんな爽やかな感触の良い夏です。迷っていたことに決断でき、すっきりとした気分になれることでしょう。就職活動中の人にも良い知らせが入るかもしれません。夏休みは長期の田舎暮らしを体験して、英気を養いたいですね。

「テイゲキグラフ　サクラ」夏号刊行　読者プレゼント

「テイゲキグラフ　サクラ」夏号の刊行を記念して、読者の皆様にプレゼントを用意しました。今回のプレゼントは、「テイゲキグラフ」スタッフより、沖縄みやげとして名高いシーサー（一対）と琉球ガラスのタンブラーです。奮ってご応募ください。締め切りは、9月末日（消印有効）。なお、当選は発送をもって代えさせていただきます。

〈送り先〉
〒107-0052
東京都港区赤坂4-13-13
ソフトバンクパブリッシング（株）
エンタテインメント書籍編集部
『テイゲキグラフ　サクラ　夏号　プレゼント係』宛



秋號 次號予告

季刊 テイゲキグラフ サクラ

帝劇スタアグラビア

紅く萌える秋の山道 すみれとかえでの小旅行

公演も一段落したある秋の休日、すみれとかえでが帝劇を抜け出して行ったその場所とは…？



特集

歌謡ショウ総決算

夏の歌謡ショウ「アラビアのバラ」が公演されるまでの様子を、取材班がつまびらかに報告します。



連載企画

✿ 大正浪漫探訪記

✿ 季節の言葉

✿ 職人を訪ねて

ほか

編集後記

◆とうとう2号目。カンナの故郷ということで昨年の夏、沖縄ロケに行きました。暑かったけど楽しかったな。長寿日本一の食事も抜群でした。（名越）

◆青い海！　白い砂浜!!　いやぁ〜沖縄は良いでんな。ロケ中は暑かったけど、めちゃくちゃ楽しかったです。今年の夏も、ぜったい行くぞ!!!（森藤）

◆暑い夏の沖縄でのロケ。たいへんだったけど、そのぶん、食べ物がものすごくおいしくて大満足。カンナの故郷が沖縄でよかった！（後藤）

◆夏といえばもちろん歌謡ショウ。今年の舞台もすごそうです。沖縄、アラビア、横浜、パリ……サクラの世界は本当に広い。（やましん）

◆涼しい屋内でゲェムもいいけれど、夏はやっぱり外で元気に遊びましょう。花火大会、海水浴……忘れちゃいけない『歌謡ショウ』！（夏丸）

◆今号の特集は沖縄。皆様、首里城を吹き抜ける、南国の風を感じていただけたでしょうか？　次は秋。美しい紅葉を皆様にお届けします！（堀内）

◆夏号はいかがだったでしょうか。次号はお待たせ歌謡ショウ総決算の大特集でいきます！　乞う御期待！　沖縄行きたいよ〜（長谷川）

季刊 テイゲキグラフ サクラ 夏号
TEIGEKI GRAPH SAKURA

■表紙
モデル　横山智佐（真宮寺さくら）
　田中真弓（桐島カンナ）
写真　川田洋司／金山史人
ヘア＆メイク　日下浩之／近藤裕美江（studio AD）
衣裳　大屋博美（ドルドルドラニ）
デザイン　中村一夫／河野幹哉（共立印刷）

■本文
モデル　横山智佐（真宮寺さくら）
　富沢美智恵（神崎すみれ）
　高乃麗（マリア・タチバナ）
　田中真弓（桐島カンナ）
　岡本麻弥（ソレッタ・織姫）
　伊倉一恵（レニ・ミルヒシュトラーセ）
　折笠愛（藤枝かえで）
写真　川田洋司／金山史人
寄稿　来生えつこ／松山猛

編集協力（五十音順）　青二プロダクション
　沖縄観光協会／office TAG
　海洋博覧会記念公園管理財団 首里城公園管理センター
　Cafe・Ristorante La Pianta
　株式会社オリオン
　古今亭菊千代
　財団法人　沖縄観光コンベンションビューロー
　ジー・ジープロモーション／studio AD
　ドルドルドラニ／バンビーナ
　パシフィック・ツアー・システムズ
　横浜十番館／リマックス／琉球村

取材協力　関岡扇令

記事協力　ビヤホール ランチョン
　墨田区役所 文化振興課
　SHARP株式会社
　株式会社ヘチマコロン
　レストラン 馬車道十番館
　資生堂パーラー 銀座四丁目店

花組スタアイラスト　山口恭史
企業広告レイアウト　星野晃三（J-9）／株式会社ラディクス
広告キャラクターイラスト　髙田詩乃

監修　株式会社レッドカンパニー
　株式会社セガ・エンタープライゼス

構成　広井王子
文　後藤克也
　高橋実弥子

レイアウト　中村一夫／松田茂和／亀甲奈々
　川瀬邦裕／真貝 秋（共立印刷）

印刷・製本　共立印刷株式会社

発行人　岡崎 眞
編集人　前田 徹
副編集人　山田真司
編集長　北村州識
販売　中嶋和史／佐藤公昭／中本直宏
制作業務　櫻井誠一
広告　辻 順一／足立静香
編集　エンタテインメント書籍編集部
　（夏 瑪麗／長谷川健／堀内滿貴子）

発行所　ソフトバンク パブリッシング株式会社
　〒107-0052
　東京都港区赤坂4丁目13番13号
販売　TEL 03-5549-1200
編集　TEL 03-5549-1164

Printed in Japan

帝劇スタアグラビア・弐

マリアと横浜

横浜——潮風の薫る街。
文明開化の花開く街。
そして、マリアにとって遠い過去の思い出と向き合うことのできる、数少ない場所。
初夏の風が吹き抜ける午後の休日に、マリアは一人、この異国の雰囲気に包まれた街に、思い出の足跡を辿る旅にでかけた。



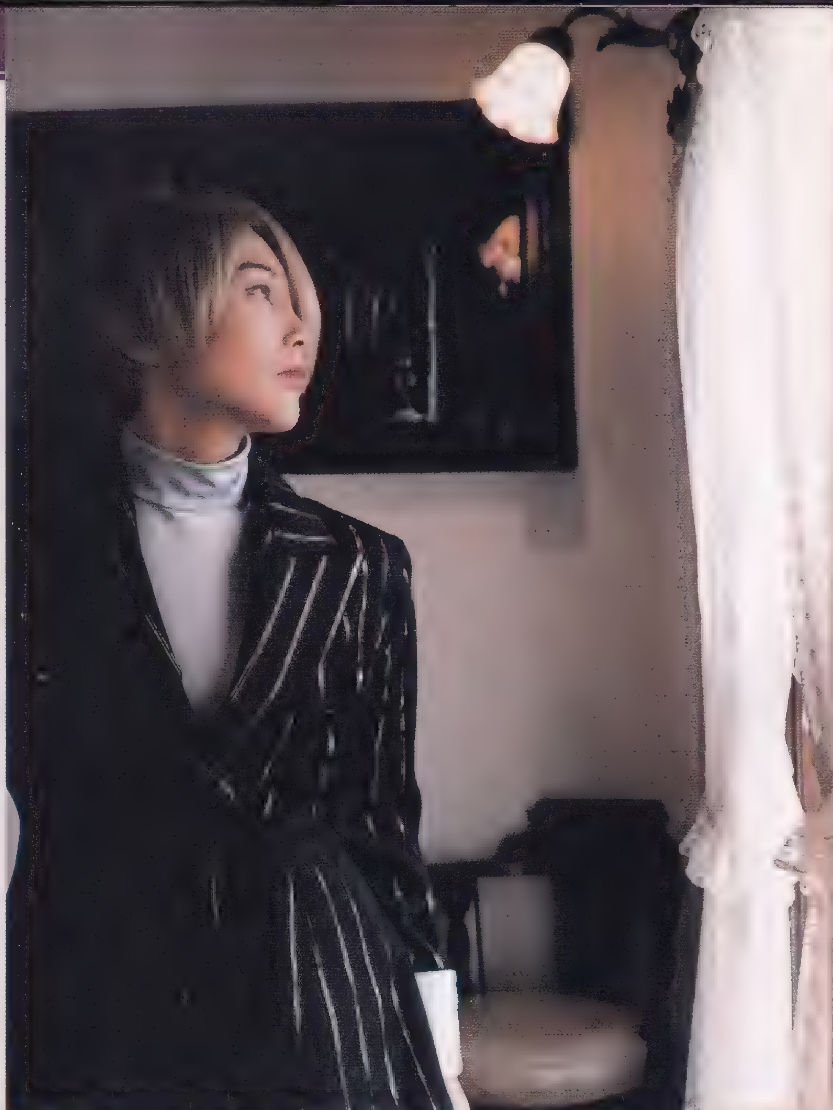






特に目的地も持たずに、横浜の街を流して歩いてみる。
変わらない街並み、人、そして潮の匂い。この街にひかれるのは紐育の街並みを思い出させるからだろうか。ふと思い立って、昔なじみのバーに足を向ける。

バーに入ると、そこではまるで時間が止まったかのように、昔の表情をそのまま留めていた。
白いカアテンから覗く街並みも、昔のまま。マリアは止まったこの風景の中に、過去の自分を見つけ出す…。















カウンターに腰掛け、グラスを傾けるマリア。過去の自分では感じることのなかった、満ち足りた空気が流れる。

マリアはグラスを掲げて、そこに写る過去の自分に向けて乾杯した…。





帝劇スタアグラビア・参

あこがれのイタリア料理

公演も終わった、ある日の休日。さくらは、織姫に連れられてイタリア料理を食べにでかけることになりました。

事の発端は、「イタリアのパスタというのは、いったいどういう食べ物なのか」という単純な疑問。

「わーかりましたー。とーっておきのリストランテに案内してあげまーす」

大はりきりの織姫と、食べたことのないイタリア料理に興味津々のさくら。果たしてこの二人の珍道中、どうなりますことやら…。



メニュウで献立をチェック。
オーダーを楽しく考えるのが、
お料理をおいしくいただく
秘訣です。





これが、本場イタリーの味でーす
よーく味わってくださいねー。



思わず舌鼓を打つ本場のイタリア料理の味

織姫に連れられてきたイタリアンレストランで、振舞われるイタリア料理に、さくらはびっくり仰天。新鮮な魚介類を使ったペスカトーレに、生ハムのカルパッチョ等など…。見たこともないような料理が飛び出します。

食事中でも織姫のお国自慢は止まりません。パスタやピッツァ、リゾット、ラザーニア、ブイヤベース、ジェラート、ティラミス…。イタリアにはもっとすばらしくおいしい料理が沢山あるとのこと。織姫の話だけでさくらは満腹になりそうです。

織姫の話によると、イタリアの人々は「食事」というものをとても大事にしていて、仕事は仕事、



楽しい雰囲気がイタリア料理のエッセンスなのです



食事は食事でそれぞれ一生懸命に楽しむことを常としているのだとのこと。

確かに、織姫の楽しい話のおかげで、料理が何倍にもおいしくなった気がします。

さくらは、食後のドルチェ（デザート）を食べながら、もう一度イタリア料理を食べに来たいと思うのでした…。



スタア紹介

帝国歌劇団・花組 名鑑

マリア タチバナ

うら若き少女ばかりの帝国歌劇団・花組の中でも、リーダー的存在であるマリア・タチバナ。帝国歌劇団設立当初から在籍しており、いわば花組の看板女優である。演じるのは男役が多く、男性ファンだけでなく、女性ファンをも多く魅了してやまない。神崎すみれとの共演で話題を呼んだ舞台「ジュリオとロミエット」でのジュリオ役、まだ新人だったころの真宮寺さくらとの掛け合いが見事だった「愛ゆえに」でのオンドレ役などは、いまでも強く印象に残っているはず。

花組のほかのメンバーからの信頼も厚く、その存在も大きい彼女。ほかの団員に聞いてみると、女優というだけでなく、ひとりの女性としても見習うべき点が多いのだという。が、舞台上の彼女だけを見ていると、役を演じるということに徹しているせいか、その本当の素顔を知ることは難しい。ファンにとっては、そんな秘密めいたところも、魅力のひとつなのかも……。

イラスト：山口恭史



【タチバナ】

一般的に「橘」とは、古来から日本に自生していた蜜柑（みかん）の立木のことを指す。六月ごろに小さくて白い花を咲かせ、冬に実をつける。柑橘（かんきつ）類の原産地は、インド～東南アジアとされているが、その品種の概念は中国が最初で、約四〇〇〇年前の栽培史に詳細が書かれている。日本では、古事記や日本書紀、魏志倭人伝などに「橘」の記述が見られ、そのころには日本に生息しており、人々に親しまれていたようだ。



スタア紹介



名鑑

アイリス

帝国歌劇団・花組のなかでは最年少となるアイリス（本名：イリス・シャトーブリアン）。幼いながらも故郷のフランスにいる両親と離れて、ひとり帝都・大帝国劇場で舞台女優としてがんばっている、れっきとした花組スタアの一人である。彼女もまた、帝国歌劇団の設立当初から舞台に立っており、主に子役を演じてその純粋無垢な魅力で、帝劇に足を運ぶ多くのファンを魅了している。いまや、帝国歌劇団のマスコットとして、はたまた女優としてなくてはならない存在だ。

入団当初は女優という意味さえも理解していなかったようだが、いまでは主演として舞台に立つこともあり、立派に役をこなしている。彼女の愛称でもある“アイリス”は、ギリシャ語で虹を表す言葉。役によって、舞台上でいくつもの表情を見せる彼女は、虹のように清らかで美しく、見ているだけで幸せになれるのだ。

イラスト：山口恭史



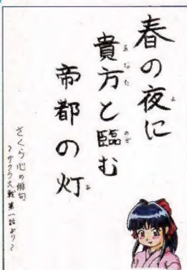
iris

花言葉は、「恋のメッセージ」「変わりやすい」「使者」「吉報」。地中海沿岸、中近東が原産地。古代エジプトでは、アイリスが信仰、知恵、勇気の象徴とされ、その大きく垂れ下がった花びらが神殿にも刻まれていた。古代から近代までは、憂鬱病、せき、打撲傷などの治療薬として重宝されていた。花の色が豊富で、白、黄、紫、青、オレンジなどが代表的。花期は春から初夏にかけて。花持ちがよく、扱いやすい。香りも上品。

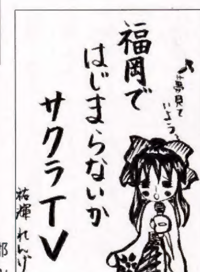
【アイリス】



読者投稿ページ 帝劇の庭



大阪府門真市
あまのじゃ君さん



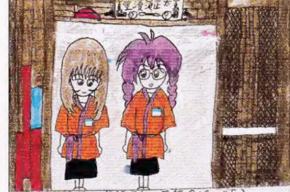
福岡県粕屋郡
祐輝れんげさん



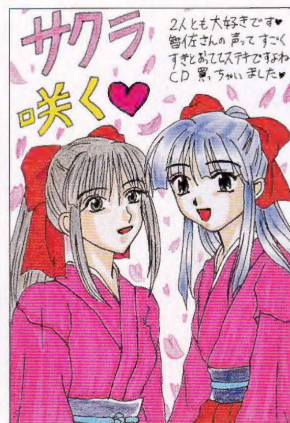
宮崎県都城市　ひよくなまこさん



東京都大田区　月島咲耶さん

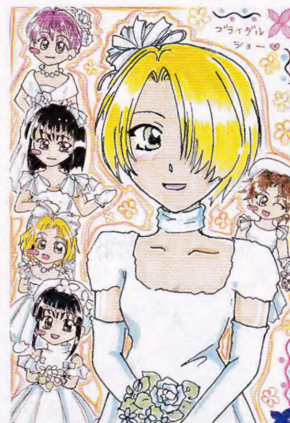
山梨県南都留郡　はっちゃんさん



香川県丸亀市　桜橘さん



徳島県鳴門市　パサロキックさん



岩手県宮古市　夜月楓さん

読者投稿ページの御案内

本書では読者の皆様の投稿作品を募集しています。投稿していただいた作品は、これから刊行される号に編集部選定の上、掲載されます。尚、掲載された方には粗品をお送りいたします。また、本書へのご意見、ご感想、花組スタアへのファンレター、質問なども随時募集しております。皆様、奮ってお送り下さい。

募集要項

一、**サクラ大戦　心の俳句**
サクラ大戦に関する様々なできごと、関心事を俳句にして送って下さい。

一、**サクラ大戦　イラスト道場**
サクラ大戦のイラストを送って下さい。上手下手は問いません。

一、**サクラ大戦　手作りの一品**
今までに作った、サクラ大戦ゆかりの一品を写真に収めてお送り下さい。

一、**サクラ大戦　サクラ大戦の謎**
皆様のふとした疑問をお送り下さい。

一、**サクラ大戦　そこにある太正**
身近な所に埋もれている太正時代の光景をお送り下さい。

御注意

お送りいただいた作品はご返却いたしませんのでご了承下さい。いただいた作品の著作権は、当編集部に帰属する形になります。必ずペンネームと本名の2つをはっきりと書いてお送り下さい。尚、この公募は「テイゲキグラフ サクラ　冬号」(2000年秋刊行予定)が刊行された時点で終了とさせていただきます。

お送り先

ソフトバンクパブリッシング株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂4-13-13
『テイゲキグラフ サクラ　○○○コーナー』宛

帝劇ファンの皆さん今日は。ようこそ帝劇の庭へ。始まったばかりで大変申し訳ないのですが、このコーナーはあと2回でおしまいです。短い間ですが皆さんで一生懸命盛り上げていきましょう！　ささてさて前回の春号では、なんと127枚もの投稿がありました！　春に新しく刊行された雑誌なのにも関わらず、こんなに多くの投稿をいただいて本当にテイゲキグラフは幸せ者です。これからも変わらぬご愛顧をお願いいたします。

本当に沢山の投稿をいただいたのですが、ここで一つ皆さんに知っておいてもらいたいことがあります。それはこのテイゲキグラフが帝劇スタアの皆さんのグラビア誌である…ということなんです。つまり…、舞台で活躍なさっている方々のイラストが、もしかしたら掲載されやすいかもしれないということなんです。もちろん、普通のイラストがダメ。という訳ではありませんけど、やっぱりスタアの方が見て喜んでもらえるようなイラストのほうがうれしいですね。

あと、手作りの一品コーナーで車、人形、ぬいぐるみ、湯のみの写真を送って下さった方、本当にありがとうございます。誌面の関係で載せられませんでしたが、全部見ていますよ。あと、車の桜花放神号の写真はすごかったのですが、一部怖いという意見がありましたのでこれも掲載できませんでした(笑)ごめんなさい。そして俳句ですが、今回掲載したように、ハガキに大きく書いてもらったほうが掲載されやすいです。心をこめて一筆入魂してみてくださいね。意気込みが伝われば必ず掲載します。

さてさて。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期ですが、夏風邪なんてひかないようにがんばってくださいね。では、また帝劇の庭でお会いしましょう。

悪あるところに必ず参上。その名は、少年レッド！

第四話「人情紙芝居・少年レッドよ永遠に」

メインキャラが交代で歌うオープニングは、渕崎ゆり子（紅蘭）嬢が担当。もちろん挿入歌「少年レッド」のテーマソングもあるぞ。

【ストーリー】

時は太正十四年、初夏。帝国美術展で織姫の父・緒方星也の作品が金賞を受賞いたし、さっそくにお祝いに駆けつける花組一同。中でも織姫の喜びはひとしおであります。そんな一同の前に現れましたのは、紙芝居「少年レッド」の原作者、深川の千葉助でありました。千葉助は、今度出版される「少年レッド」の本の表紙を緒方に描いて欲しいと頼み込んだのでありますが、緒方は、以前、ラジオの公開録音の時に紅蘭が演じた「少年レッド」の印象が鮮烈でそのモデルを指名したのであります。

さて快諾はしたものの、紅蘭が少年レッドの衣装に着替えていたその頃、緒方の住む長屋には立ち退きを迫るヤクザ達が現れ、蒸気重機「ラヂカラ」なるもので長屋を壊しはじめたではありませんか。混乱の中、紅蘭を本物の少年レッドと、また織姫を「地中海の赤い風」と思い込んだ少年達を前に、彼らの夢を壊してはならないと、二人は役になりきったのであります。

正にその時、ラジオの公開録音の時そのままに、花組メンバーがそれぞれの衣装を身にまとい現れたではありませんか！果たして彼らはこの混乱を、役になりきったままどのように収拾しようというのでありましょうか……？

新OVAシリーズ サクラ大戦 〜轟華絢爛〜

平成12年6月25日 VIDEO LD DVD 同時リリース

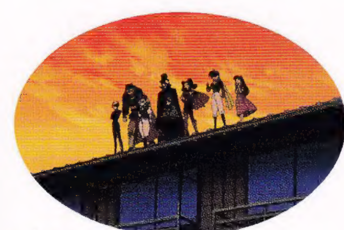
製作・発売元
セガ・エンタープライゼス／バンダイビジュアル／アニメイトフィルム

販売元
バンダイビジュアル

【毎回封入特典】
OVAキャラクター設定・黒田和也描き下ろし特典ピンナップ

【全巻購入特典】
描き下ろしイラストを使用した「全六巻収納可能・特製化粧箱」
（クーポン券を封入：送料・発送手数料他一部費用はお客様負担になります）

- LD：BELL-1448／CLV／ドルビーデジタル5.1ch／ドルビーサラウンド
- DVD：BCBA-0242／片面1層／ドルビーデジタル5.1ch／ドルビーサラウンド
- VIDEO：BES-2393／ドルビーサラウンド
- 各巻一話収録（約30分）／¥5,800（税抜）／全六巻

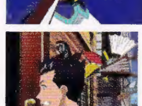



主役になるのは、紅蘭と織姫







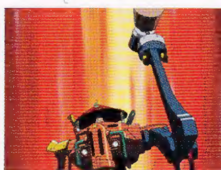






【キャスト】

真宮寺さくら（湯川マサエ）	横山　智佐
神崎すみれ（悪の手下・その1）	富沢美智恵
マリア・タチバナ（ドクロX）	高乃　　麗
アイリス（千年杉のオババ）	西原久美子
李　紅蘭（少年レッド）	渕崎ゆり子
桐島カンナ（熊殺しのゴウリキ）	田中　真弓
ソレッタ・織姫（地中海の赤い風）	岡本　麻弥
レニ・ミルヒシュトラーセ（貴公子デューク）	伊倉　一恵
藤枝かえで	折笠　　愛
大神一郎	陶山　章央
米田一基	池田　　勝
緒方星也	大塚　明夫
深川の千葉助	千葉　　繁
	ほか





【スタッフ】

原作	広井　王子
シリーズ監修	あかほりさとる
シリーズ構成・脚本	川崎ヒロユキ
音楽	田中　公平
キャラクター原案	藤島　康介
キャラクターデザイン	松原　秀典
OVAキャラクター設定	黒田　和也
	吉野　真一
監督	工藤　　進
製作	セガ・エンタープライゼス
	バンダイビジュアル
	アニメイトフィルム
監修	レッドカンパニー
アニメーション制作	RADIX

李紅蘭（少年レッド役）渕崎ゆり子嬢コメント

●前作（「キネマの驚天動地」）で、OVA初出演となった「少年レッド」ですが、今回いよいよ本格的に大活躍ですね。「少年レッド」に関しての想いを……

数あるサクラのキャラの中でも紅蘭にとって一番の当たり役だと思っています。皆さんの夢をこわすことなく活躍できる、最高の作品となりました。

●今回、アフレコにあたって苦労された事、印象に残った事がありましたら……

敵さんのメカに追いかけられて、1分間ほど走りまわるシーンがあったのですが、息の演技をしていて本当に苦しくなってしまいました！腹筋が弱くなったな（笑）。反省。

●今回の見所を「紅蘭」さんとしてアピールして下さい。

とにかく悪者（!）の皆さんとの闘いのシーン。
花組、星組。少年レッドの物語そのもののキャスティングで大あばれ！
昨年の歌謡ショウを見ていただいた方にはさらに大興奮の物語です！

バンダイビジュアル株式会社

〒111-8558　東京都台東区松が谷1-3-5　SEFビル
東京営業所　TEL 03-5828-3001　FAX 03-5828-3010
名古屋営業所　TEL 052-883-5911　FAX 052-883-5912
大阪営業所　TEL 06-6375-4325　FAX 06-6375-4330

2000年7月30日発行■発行 ソフトバンク パブリッシング株式会社





ISBN4-7973-1271-8 C9476 ¥933E

定価　本体933円　＋税

Printed in Japan　雑誌65815-32